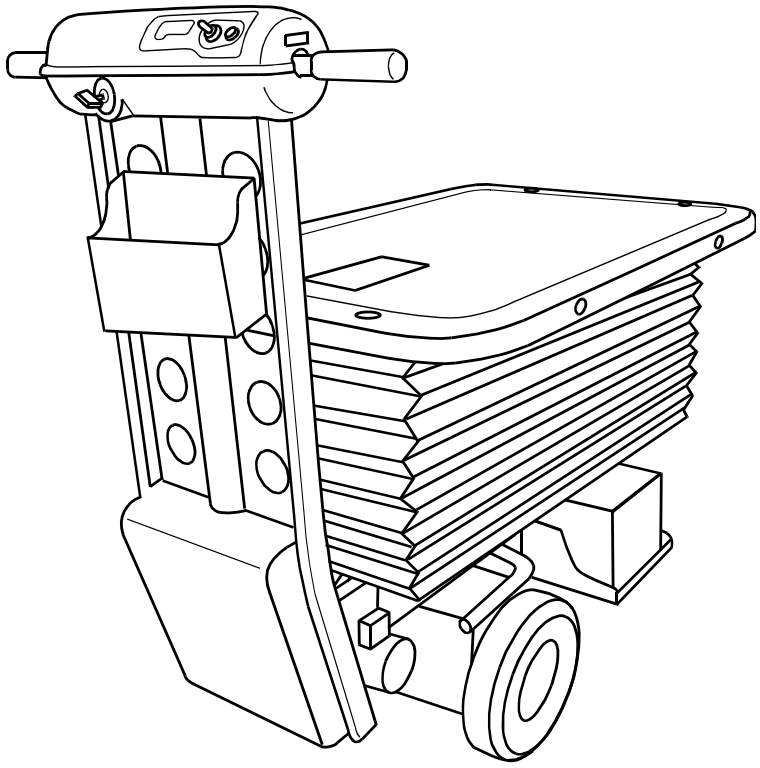
電動アシストカート

取 扱 説 明 書

AssiCa



ご使用の前に必ずお読み下さい。

atex

はじめに

●このたびは、㈱アテックス　電動アシストカートをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

●この取扱説明書は、電動アシストカートを安全にご使用していただくため、是非守っていただきたい安全作業に関する基本的事項と電動アシストカートを最適な状態で使っていただくための正しい運転･調整･整備に関する技術的事項を中心に構成しております。

●電動アシストカートを初めて運転されるときはもちろん、日頃の運転・取扱いの前にも取扱説明書を熟読され、十分理解の上、安全・確実な作業を心がけてください。

●この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

●電動アシストカートを貸与又は譲渡される場合は、相手の方に取扱説明書の内容を十分に理解していただき､この取扱説明書を電動アシストカートに添付してお渡しください。

●この取扱説明書を紛失又は損傷された場合は、速やかにお買い求めの販売店へご注文ください。

●なお､品質､性能あるいは安全性の向上のため､使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容及びイラスト・写真などの一部が、電動アシストカートと一致しない場合もありますので、ご了承ください。

●この電動アシストカートは国内での使用を前提にしています。したがって海外諸国での安全規格等の適用・認定等は実施していません。この電動アシストカートを国外へ持ち出した場合に当該国での使用に対し、事故等による補償等による問題が発生することがあっても、当社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

●もし、おわかりにならない点がございましたら、ご遠慮なくお買い求めの販売店へご相談ください。

●取扱説明書の中の ⚠重要 表示は、次のような安全上、取扱上の重要なことを示しております。よくお読みいただき、必ず守ってください。

表　示	重　要　度
⚠危険	その警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負うことになるものを示しています。
⚠警告	その警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う危険性があるものを示しています。
⚠注意	その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示しています。
重要	商品の性能を発揮させるための注意事項を説明しています。

はじめに

●この取扱説明書では、本シリーズの各型式について併記してあります。お買い求め頂いた電動アシストカートの型式を、車両に貼付けしてある銘板で確認され、該当する項目をよくお読みください。

型　式	駆動方式	荷台タイプ
ＭＣ－ＸＲ	後輪駆動（２モータ）	電動油圧リフト
ＭＣ－ＸＦ	前輪駆動（２モータ）	

※本書では特別な必要性が無い限り、基本的に「ＭＣ－ＸＲ」のイラストにて各説明をしています。

目　次

重要安全ポイントについて ---------- 2
安全表示ラベルの注意 ---------- 3,4
安全のポイント ---------- 5
安全な作業をするために ---------- 5～19
保証とサービス ---------- 20
各部の名称とはたらき ---------- 21
各部の名称 ---------- 21
操作スイッチやレバー、メータの名称とはたらき ---------- 22～24
警報とメータ表示機能 ---------- 25～28
作業の準備 ---------- 29
使用前の点検について ---------- 29
運転のしかた ---------- 30
走行のしかた ---------- 30～35
積載要領 ---------- 36
リフト操作 ---------- 37,38
緊急時の対応 ---------- 38
充電のしかた ---------- 39
充電に関する一般的な注意 ---------- 39
充電作業 ---------- 40～42
バッテリについて ---------- 43
バッテリの交換 ---------- 43
バッテリの取扱い ---------- 44
作業のしかた ---------- 45
点検・整備 ---------- 45～47
各部の点検・整備のしかた ---------- 48
手入れと格納 ---------- 49
不調時の対応のしかた ---------- 50,51
サービス資料 ---------- 52
主要諸元 ---------- 52
外観図 ---------- 53,54
配線図 ---------- 55
主な消耗部品 ---------- 56

重要安全ポイントについて

1．運行前には、必ず始業点検を行い、
　　特に重要な保安部品（ブレーキ等）は、確実に整備します。

2．運転・作業をするときは、
　　安全カバー類が取り付けられていることを確認します。

3．傾斜地（3°以下）・軟弱地・段差付近などで使用するときは、
　　転落・転倒しないように十分注意します。

4．本製品は構内用作業機です。
　　公道での使用はできません。

5．作業は平坦路での操作が基本です。
　　傾斜地（3°以上）で使用してはいけません。

6．機械の清掃・点検および調整をするときは、
　　必ずキースイッチを切り、機械の停止を待ちます。

7．補助者と共同作業を行うときは、
　　必ず合図をし、周囲の安全を確認します。

8．リフト作業を行なうときは、周囲の安全を確認します。

9．荷物を積むときは、
　　積載重量を守りバランスよく、また荷動きしないよう
　　しっかりとロープ等で固定します。

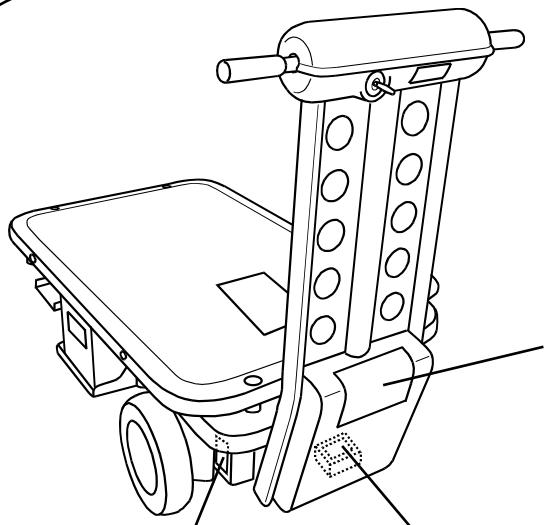
この機械をお使いになるときは復唱してください。

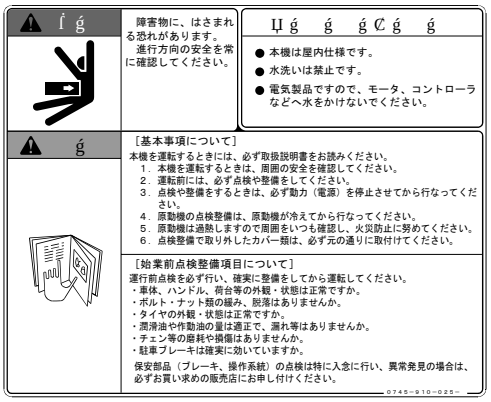
安全に作業していただくため、ぜひ守っていただきたい重要安全ポイントは上記の通りですが、これ以外にも本文の中で安全上是非守っていただきたい事項を ⚠重要 の記号を付して説明のつど取りあげております。
よくお読みいただくとともに、必ず守っていただくようお願い致します。

安全表示ラベルの注意

■本機には、安全に作業していただくため、安全表示ラベルが貼付してあります。必ずよく読んで、これらの注意に従ってください。
■安全表示ラベルが破損したり、なくなったり、読めなくなった場合は、新しいラベルに貼りかえてください。
■泥等が付いた場合は、きれいに拭きとり、いつでも読めるようにしてください。
■安全表示ラベルが貼付してある部品を交換する場合は、同時に安全表示ラベルもお買い求めの販売店へ注文してください。
■マーク（安全表示ラベル等）には、洗車時に直接高圧水をかけないでください。

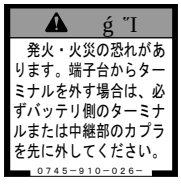
安全表示ラベル貼付位置





0745-910-025-（コード番号）

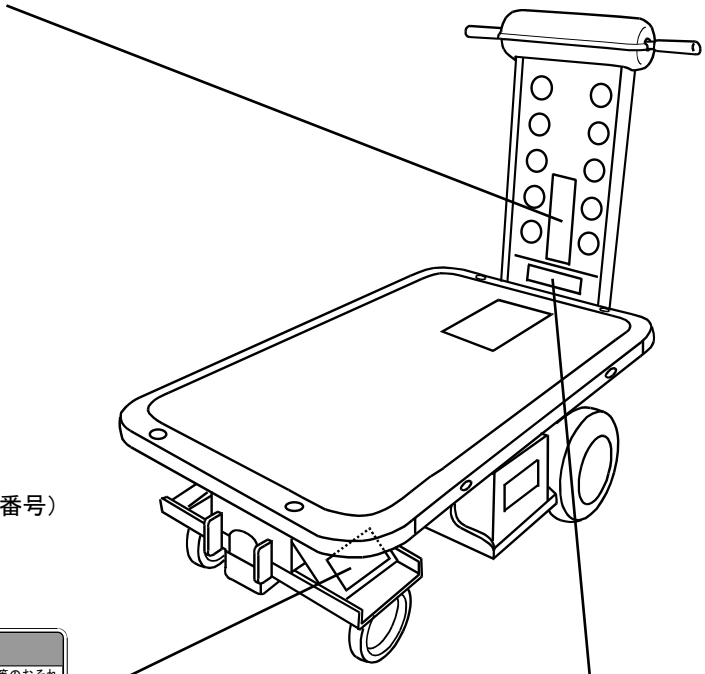
0745-910-023-（コード番号）
※左右2箇所あり



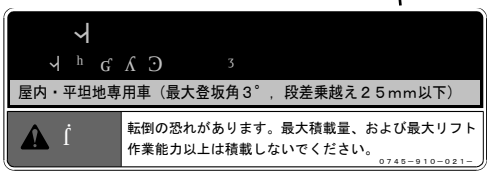
0745-910-026-（コード番号）

安全表示ラベル貼付位置

0745-910-024-（コード番号）



0745-910-022-（コード番号）



0745-910-021-（コード番号）

安全のポイント

安全な作業をするために

本章では、機械を効率よく安全にお使いいただくために、必ず守っていただきたい事項を説明しております。十分に熟読されて、安全な作業を行ってください。

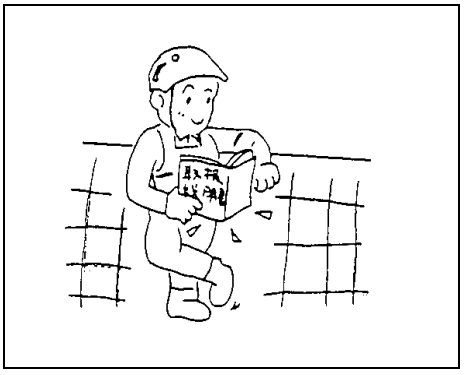
⚠注意　［基本事項について］

本機を運転するときは、必ず取扱説明書をお読みください。

1．本機を運転するときは、周囲の安全を確認してください。
2．運転前には、必ず点検や整備をしてください。
3．点検や整備をするときは、必ず動力（電源）を停止させてから行ってください。
4．原動機の点検整備は、原動機が冷えてから行なってください。
5．原動機は過熱しますので、周囲をいつも確認し、火災防止に努めてください。
6．点検整備で取り外したカバー類は、必ず元の通りに組付けてください。

■運転者の条件

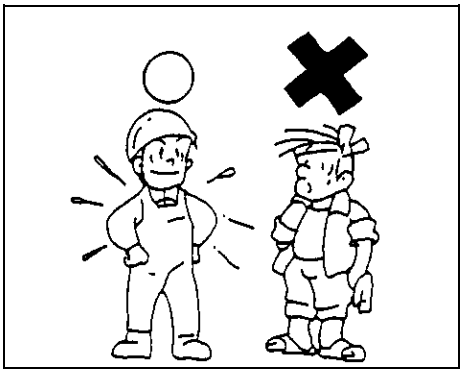
(1)　この「取扱説明書」をよく読むことからはじめてください。これが安全作業の第一歩です。



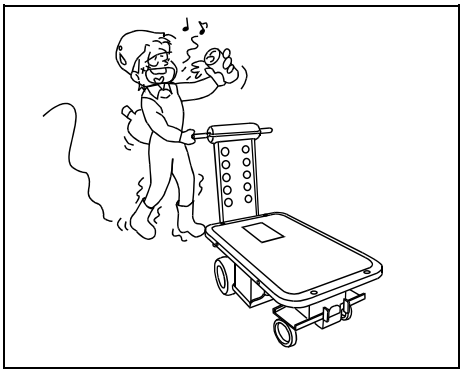
(2)　服装は作業に適したものを着てください。服装が悪いと、衣服が回転部に巻き込まれたり、靴がスリップしたりして大変危険です。

　ヘルメットや適正な保護具も着用してください。

　濡れた手、油のついた手で運転してはいけません。感電や誤操作の恐れがあり、大変危険です。



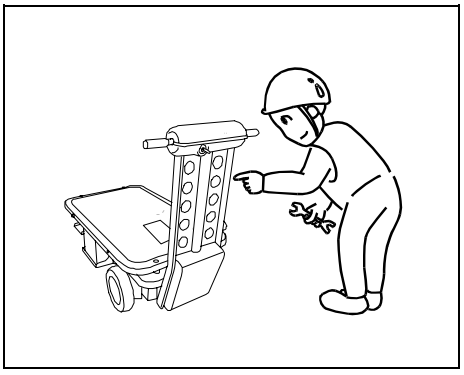
(3)　飲酒時や過労ぎみの時、または妊娠している人、子供など未熟練者は絶対に作業をしてはいけません。作業を行うと、思わぬ事故を引き起こします。作業をする時は、必ず心身とも健康な状態で行なってください。



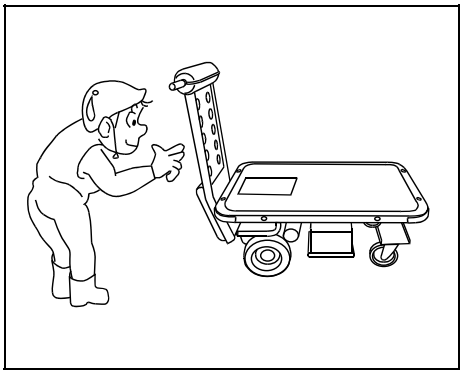
■作業を開始する前に

(1)　作業する前に、本書の「定期点検整備箇所一覧表」を参考に、必要な点検を必ず行なってください。

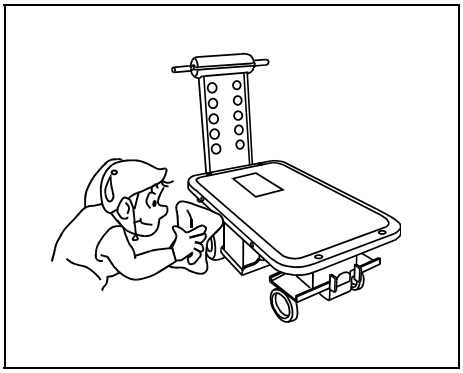
点検を怠ると、走行中や作業中に思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。



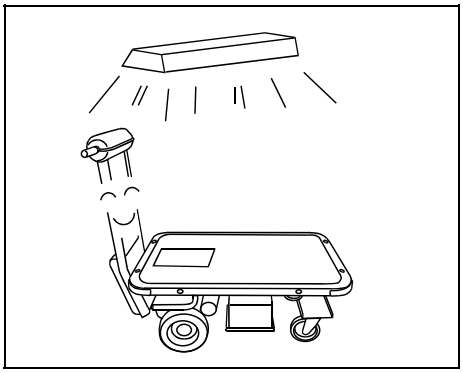
(2)　安全カバー類が外されたままになっていないかを確認しましょう。運転作業を行うと危険な部分が露出して大変危険です。



(3)　潤滑油の給油をするときは、必ずキースイッチを切り、機械が停止した状態で行い、
　また、こぼれた油やグリースは、すぐに拭き取って適正な処分をしてください。
この時、火気にも十分注意してください。

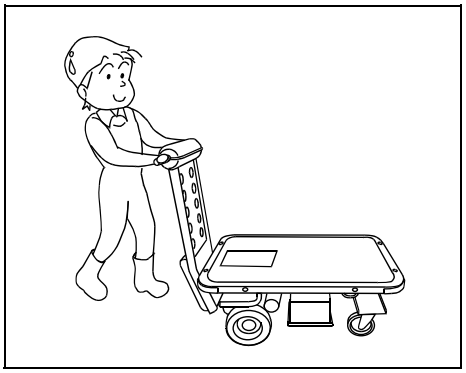


(4)　夜間作業など、周囲の状況が把握しにくい環境では、衝突・転落・転倒など、死傷事故を引き起こす恐れがあり、大変危険です。
　暗い場所では、照明器具などで明るさを確保してからお使いください。



(5)　作業前に十分な練習を行ってください。取扱い慣れた後も慎重に運転し、無理な作業はしないでください。

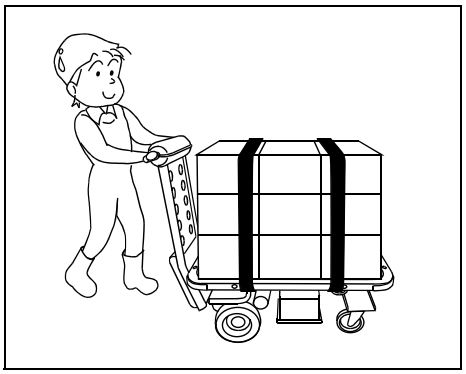
さもないと、人身事故や物損事故をひき起こす恐れがあります。



■発進時には

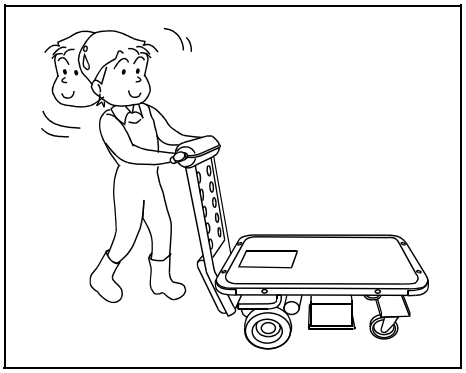
(1)　最大積載量を越える荷物を積まないでください。

また、積荷が安全かつ確実に積みつけされているか確認し、運搬してください。



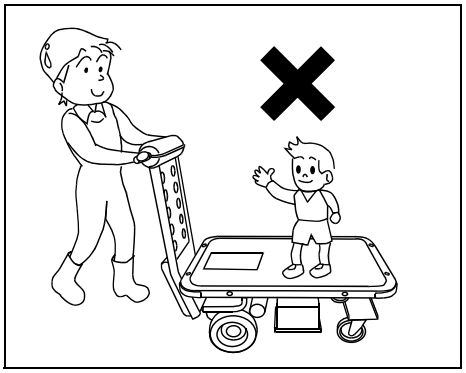
(2)　発進する前に、周囲の安全を確認してください。

キャスター輪の特性で、発進時や走行中に少し振られることがあります。周囲の作業者の安全にも配慮し、十分注意して運転してください。

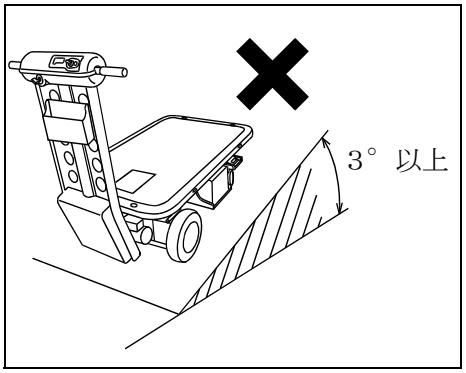


■走行するときは

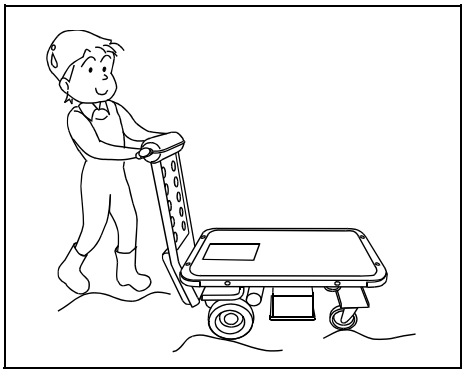
(1)　転落・転倒・衝突の恐れがあります。
　いかなる場合も、荷台などに人や動物を乗せないでください。作業の際はもちろん走行中の急旋回、重心の移動等により大変危険です。



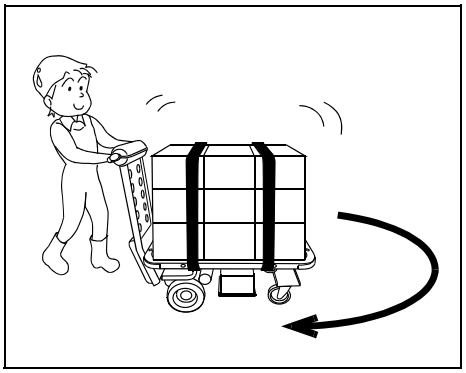
(2)　停止できない恐れがあります。
　傾斜地（３°以上）で使用してはいけません。衝突・転倒事故を引き起こす恐れがあり、大変危険です。
　作業は平坦路での操作が基本です。



(3)　傾斜地（３°以下）・軟弱地・段差付近などでは、速度を落として十分に注意して使用してください。転倒の恐れがあり、大変危険です。
　また傾斜地を横切ったり、斜めに走行したり、傾斜地でのＵターンや旋回走行は避けてください。機体が思わぬ方向へ動き、事故につながります。

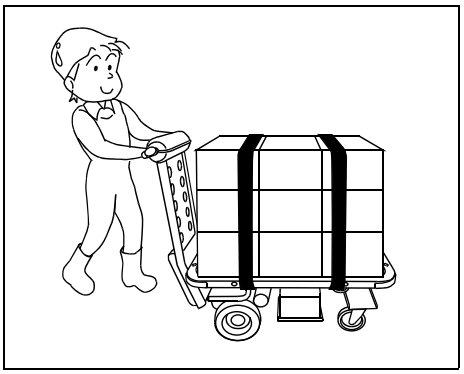


(4)　急発進・急停止・急旋回は、積荷が崩れる恐れがあり危険です。ゆっくりと発進・停止・旋回を行ってください。

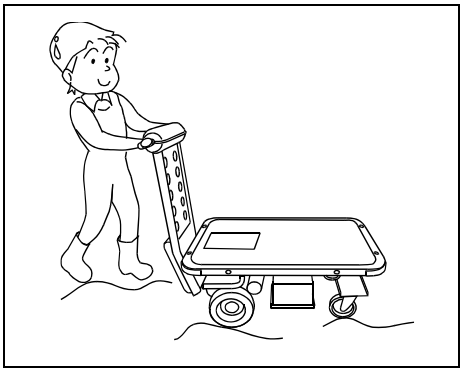


(5)　転倒・転落・荷物の落下の恐れがあります。走行・運搬時は、荷台を必ず一番下まで下ろした状態で移動してください。

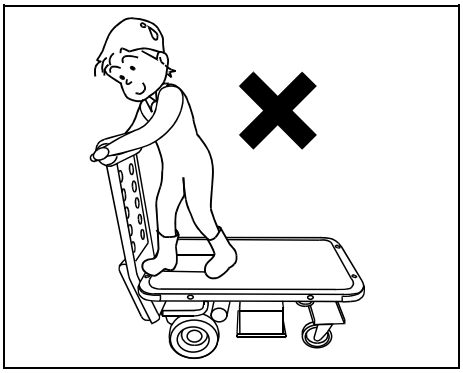
荷台を上昇させたまま走行してはいけません。転倒事故を引き起こします。



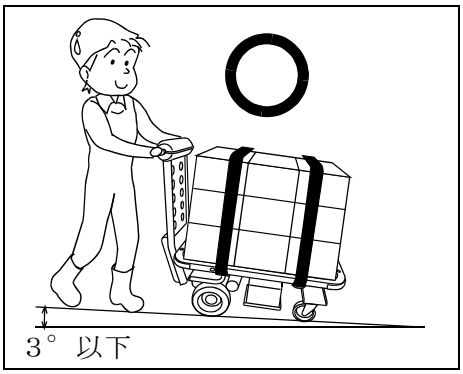
(6)　凹凸の激しい路面や湿った所、すべりやすい所では、路面状態、積載状態に応じた安全な速度で走行してください。また、浸水・冠水した路面は走行しないでください。これらを怠ると、衝突・転倒事故を引き起こす恐れがあります。



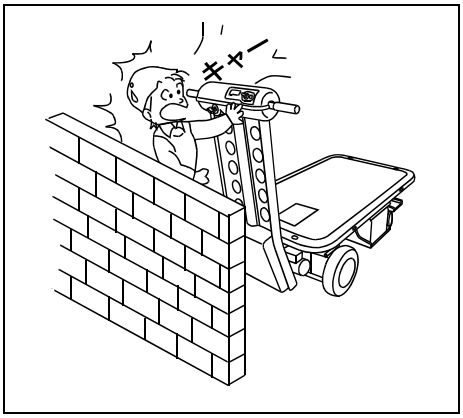
(7)　転落・転倒・衝突の恐れがあります。
　いかなる場合も機体の上に乗って運転してはいけません。操作方法を誤り、事故につながります。



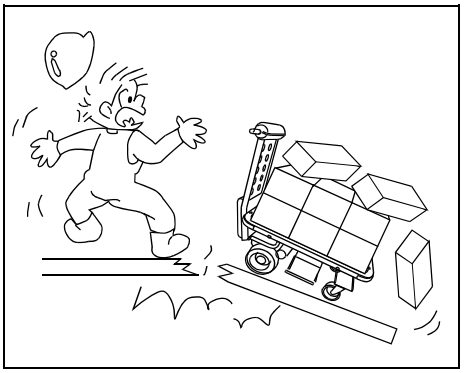
(8)　荷物を積んで傾斜地（３°以下）を走行する時は、作業者が坂上になるようにして運転してください。
　キャスター輪の特性で、走行中少し振られることがありますので、速度を落として十分注意して運転してください。



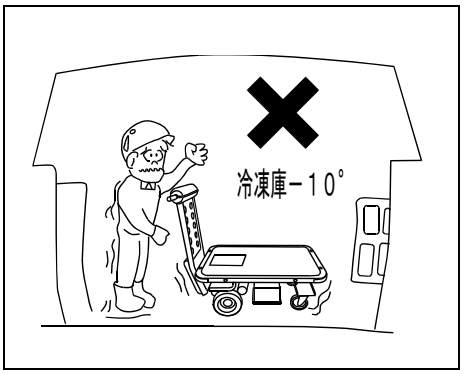
(9)　わき見運転や無理な姿勢で運転をしてはいけません。進行方向、特に後進時は、周囲の障害物に注意してください。機械にはさまれる恐れがあり、大変危険です。
　また、周囲の人にぶつけたり、足を踏みつけたりしないよう、十分注意して使用してください。



(10)　床荷重を確認してください。
　床には「車両重量＋積載重量」がかかります。建屋の損傷・落下事故を引き起こします。

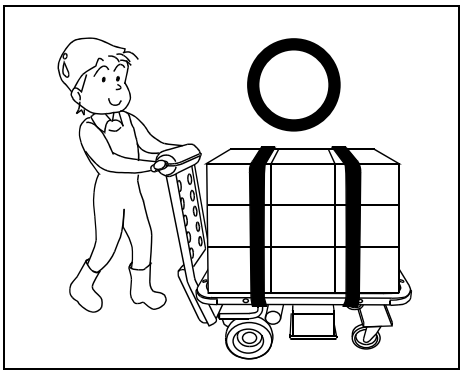


(11)　本機は耐水仕様ではありません。また、冷凍冷蔵庫仕様や防爆仕様ではありません。（０～４０℃の範囲でご使用ください。）
　ショートにより爆発・発火・損傷が起こる恐れがあります。乾燥した場所で使用してください。冷凍庫や爆発の恐れがある場所では、使用してはいけません。



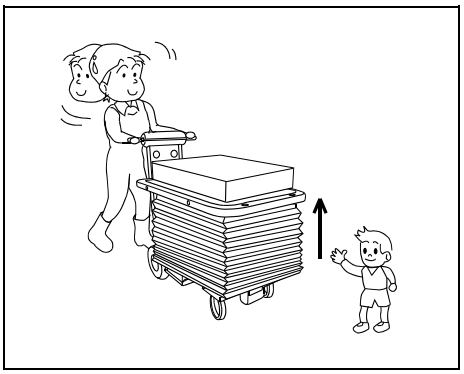
■作業中は

(1)　積載制限を守り、ロープ等により積荷が移動しないようにしっかりと荷台に固定してください。過積載は、操作ミスを引き起し大変危険です。
　荷物を積むときは、重心が車両の中央にるよう、また重心が高くならないようにしましょう。荷物が片寄ったり、重心が高くなると、転倒や荷物の落下の原因となり大変危険です。

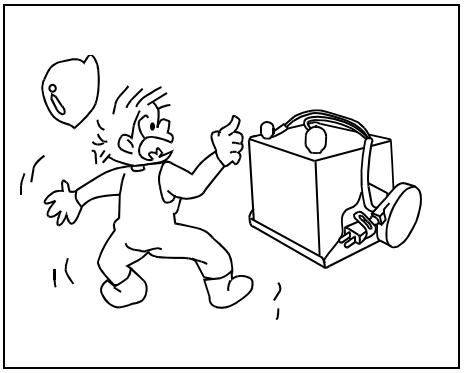


(2)　リフト作業を開始するときは、必ず周囲の安全を確認して、作業中は作業者以外の人、特に子供を近づけないでください。

また、リフト作業は平坦地で行ってください。機体が傾いた状態で積荷を上昇させてはいけません。重心位置が変化し転倒や障害事故の原因となり大変危険です。

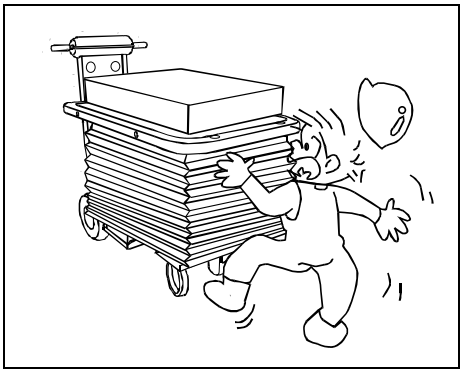


(3)　回転部、モータなどの過熱部、バッテリ端子等の通電部など危険な箇所には、手を触れないようにしてください。傷害事故の原因となり大変危険です。



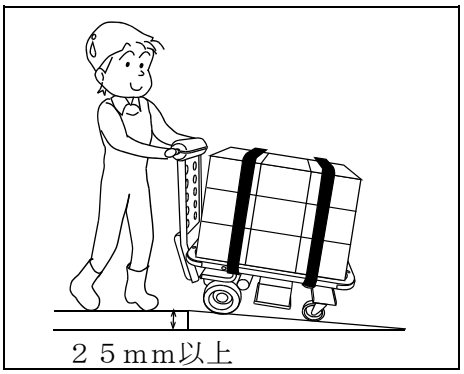
(4)　荷台の下に手・足・身体を入れないでください。怪我をする恐れがあります。

シザーズガードに手・足・身体で触れたり、突いたりしないでください。シザーズガードの中にはリフト機構等の可動部が収納されています。不用意に触れると怪我をする恐れがあります。



(5)　本機は、キャスター輪径が小さいので、２５ｍｍ以上の段差のある場所では走行できません。

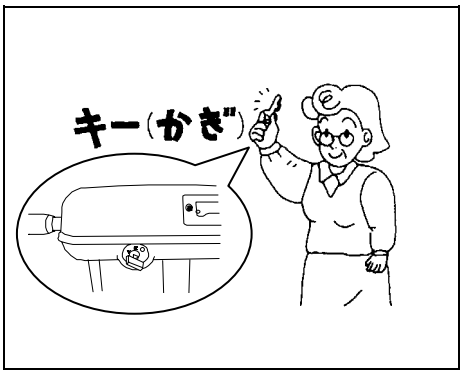
この場合、他の段差の無いルートを走行してください。やむを得ず２５ｍｍ以上の段差を乗越えなければならない場合は、スロープを設置するなど、設備の改善を行ってください。



■作業後は

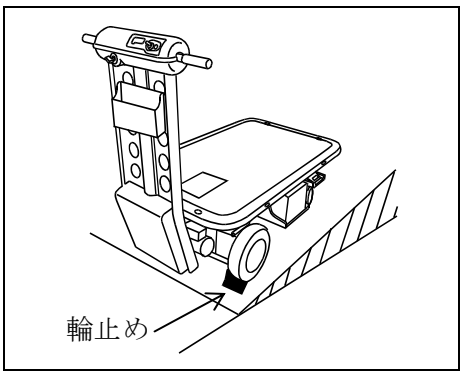
(1)　機械から離れる時は、荷台を一番下まで下げ、キーを抜いてください。

荷台を上昇させた状態で駐・停車させておくと、不意に人が近づいたとき、傷害事故を引き起こす恐れがあり、大変危険です。



(2)　不用意に動き出す可能性がありますので、必ず平坦地に駐・停車してください。

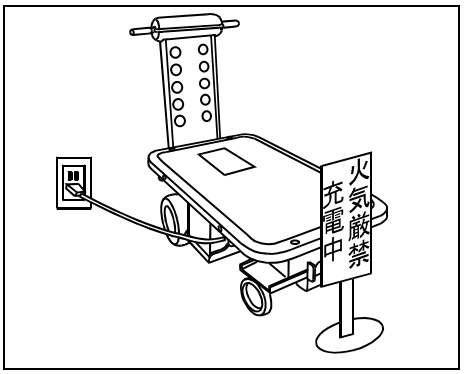
やむを得ず斜面に駐車しなければならない場合は、必ず輪止めをほどこしてください。



(3)　バッテリ充電中は、爆発の危険のある水素ガスが発生します。

直射日光や雨・梅雨の影響を受けない、風通しのよい湿気のない場所で充電してください。

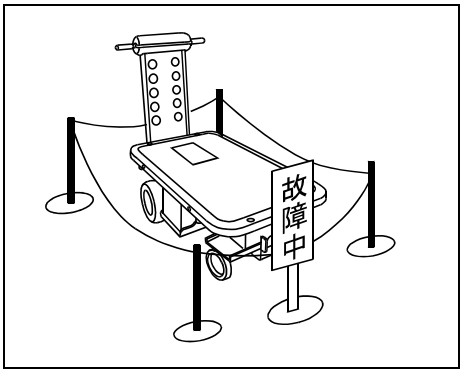
また、バッテリの充電中は「火気厳禁」の札を良く目につく場所に掲げてください。



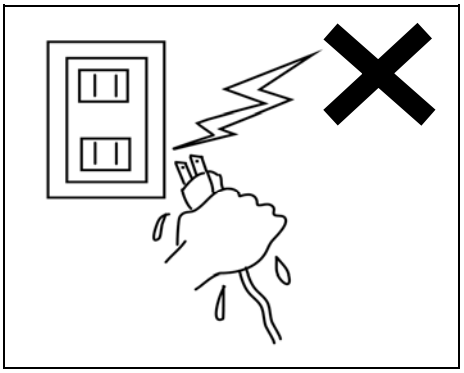
(4)　異音、その他の異常を感じたらただちに安全な場所へ駐車し、管理者またはお買い求めの販売店に連絡をしてください。

その際、機械に他の人が触れないように処置してください。

修理完了まで運転しないようにしてください。

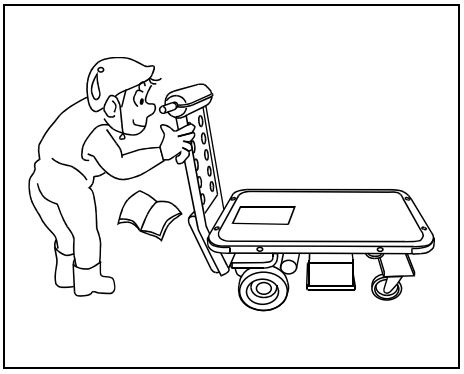


(5)　濡れたプラグや手で充電しないでください。感電する恐れがあります。



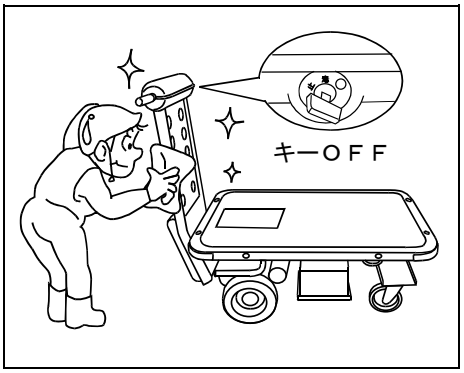
■点検整備は

(1)　点検整備をするときは、明るく平坦な広い場所で行ってください。これを怠ると、機械が不意に動き出し、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。

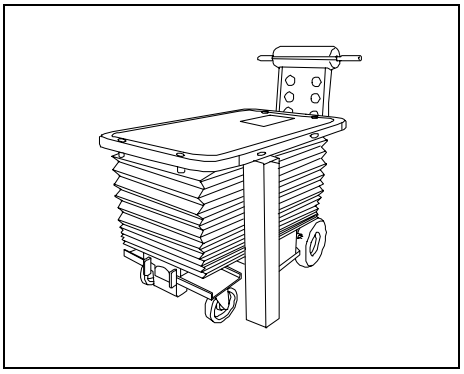


(2)　機械の掃除・点検整備をするときは、必ずキースイッチを切り、機械を停止させてください。思わぬ事故をまねく恐れがあります。

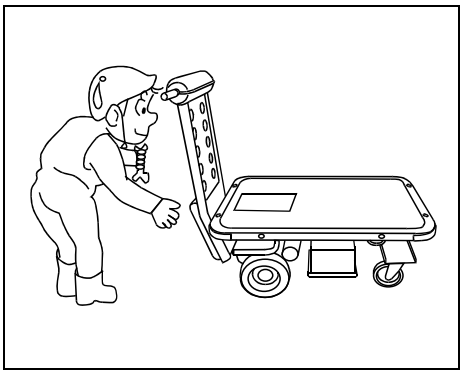
　またキースイッチを切ってすぐに、点検整備をしてはいけません。モータなどの過熱部分が完全に冷えてから行ってください。怠ると火傷などの原因となります。



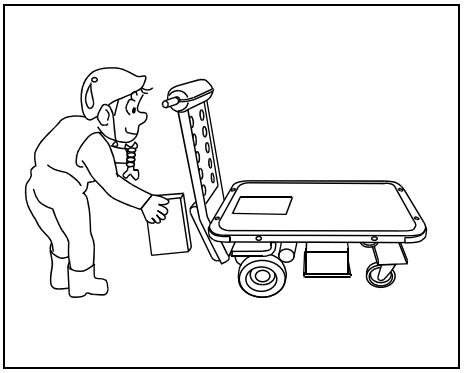
(3) 荷台をリフトさせての点検整備の際は、十分に強度のある木材などで荷台降下防止策を施してください。怠ると急に荷台が降下し、はさまれたりして大変危険です。



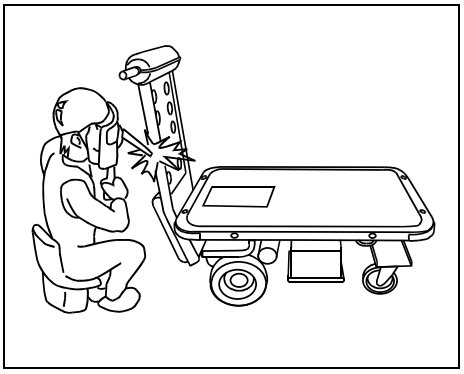
(4)　適正な工具を正しく使用して行ってください。間に合わせの工具で行うと、整備中の傷害事故や、整備不良による思わぬ事故を引き起こし大変危険です。



(5)　点検整備で取り外した安全カバー類は、必ず元の通りに取付けてください。回転部や過熱部がむきだしになり、傷害事故の原因となり大変危険です。

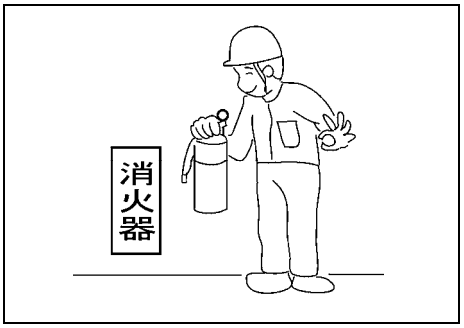


(6)　機械の改造は絶対にしないでください。機械の故障や事故の原因になり大変危険です。



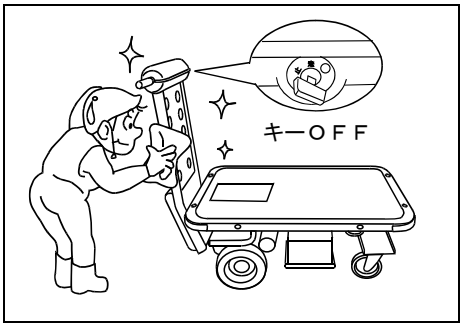
(7)　周辺の消火器や消火設備の位置、使用方法を確認しておいてください。

　いざという時の対処方法を、あらかじめ確認しておいてください。

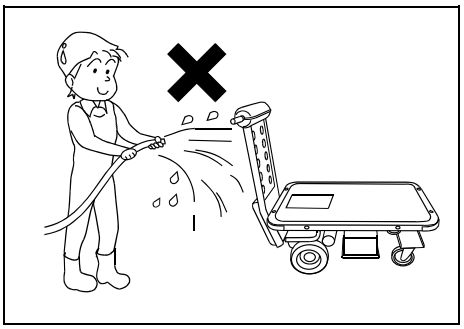


■保管・格納は

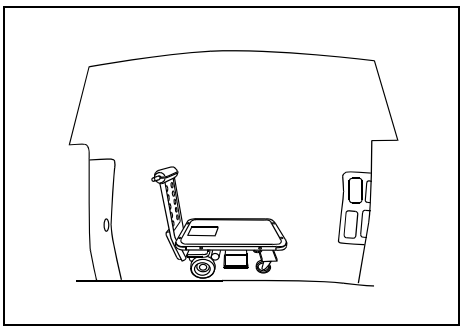
(1)　動力を停止し、機体に付着したドロやゴミ等をきれいに取り除いてください。特にバッテリやモータなど電装品まわりのゴミは火災の原因となります。必ず取り除いてください。



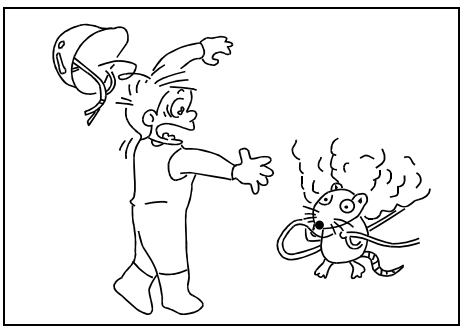
(2)　水洗いは禁止です。
　電気部品に水がかかると、誤作動・故障・ショートによる発火の可能性があります。水気をよく絞った布で、電気部品以外を清掃してください。



(3)　子供などが容易に触れないようにカバーをするか、格納庫にいれて保管してください。カバー類をかける場合は、充電後に行ってください。充電中にカバー類をかけると火災の原因となります。

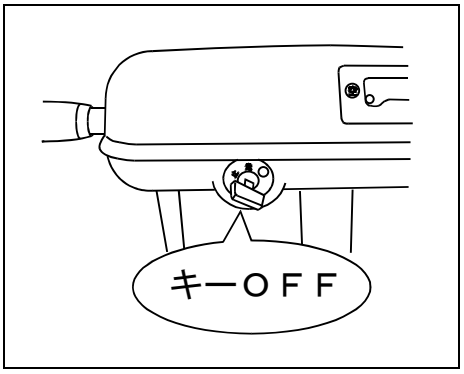


(4)　長期格納するときは、バッテリケーブルを外しておいてください。外しておかないと、不慮にケーブルがショートして、発火する可能性があり大変危険です。
（ネズミ害など）

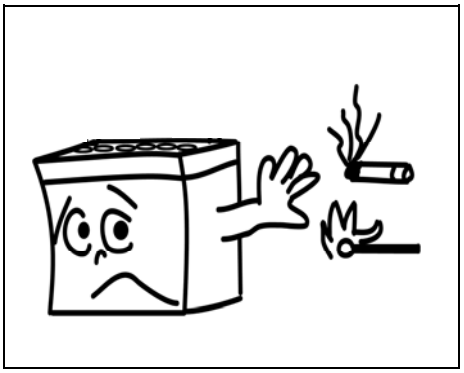


■電装品の取扱い

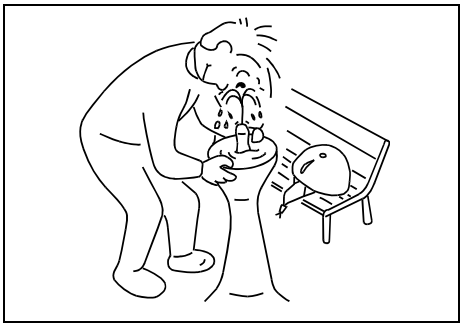
(1)　電気配線の点検、および配線接続部の点検は必ずキースイッチを切り、バッテリーの㊀コードを外して行ってください。これを怠ると火花が飛んだり、感電したり、誤って機体が動いたりし、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。



(2)　バッテリーを取扱う時は、ショートやスパークさせたり、タバコ等の火気を近づけないでください。



(3)　バッテリー液（電解液）は希硫酸で劇毒です。体や服につかないようにしてください。失明や火傷をすることがあり大変危険です。もしついたときは、大量の水で洗ってください。なお、目に入った時は水洗い後、医師の治療を受けてください。



保証とサービス

■新車の保証

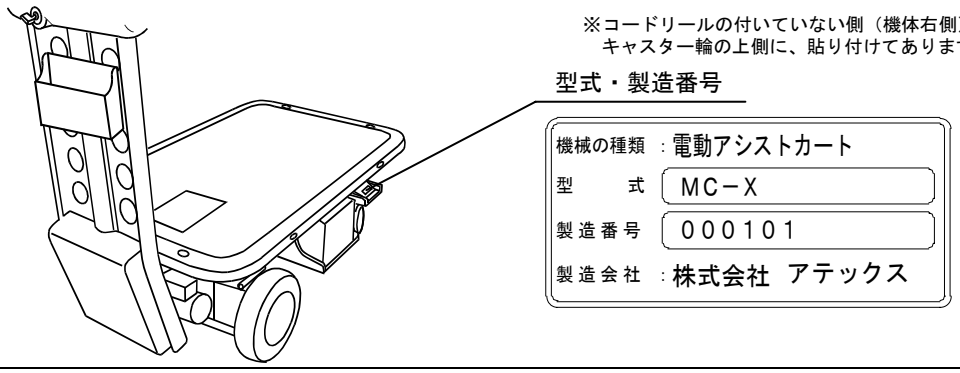
この製品には、㈱アテックス保証書が添付されています。詳しくは、保証書をご覧ください。

■サービスネット

ご使用中の異常や故障など、ご不審な点、およびサービスに関するご用命は、お買い求めの販売店へお気軽にご相談ください。

その際、販売型式名と製造番号をご連絡ください

販売型式名と製造番号



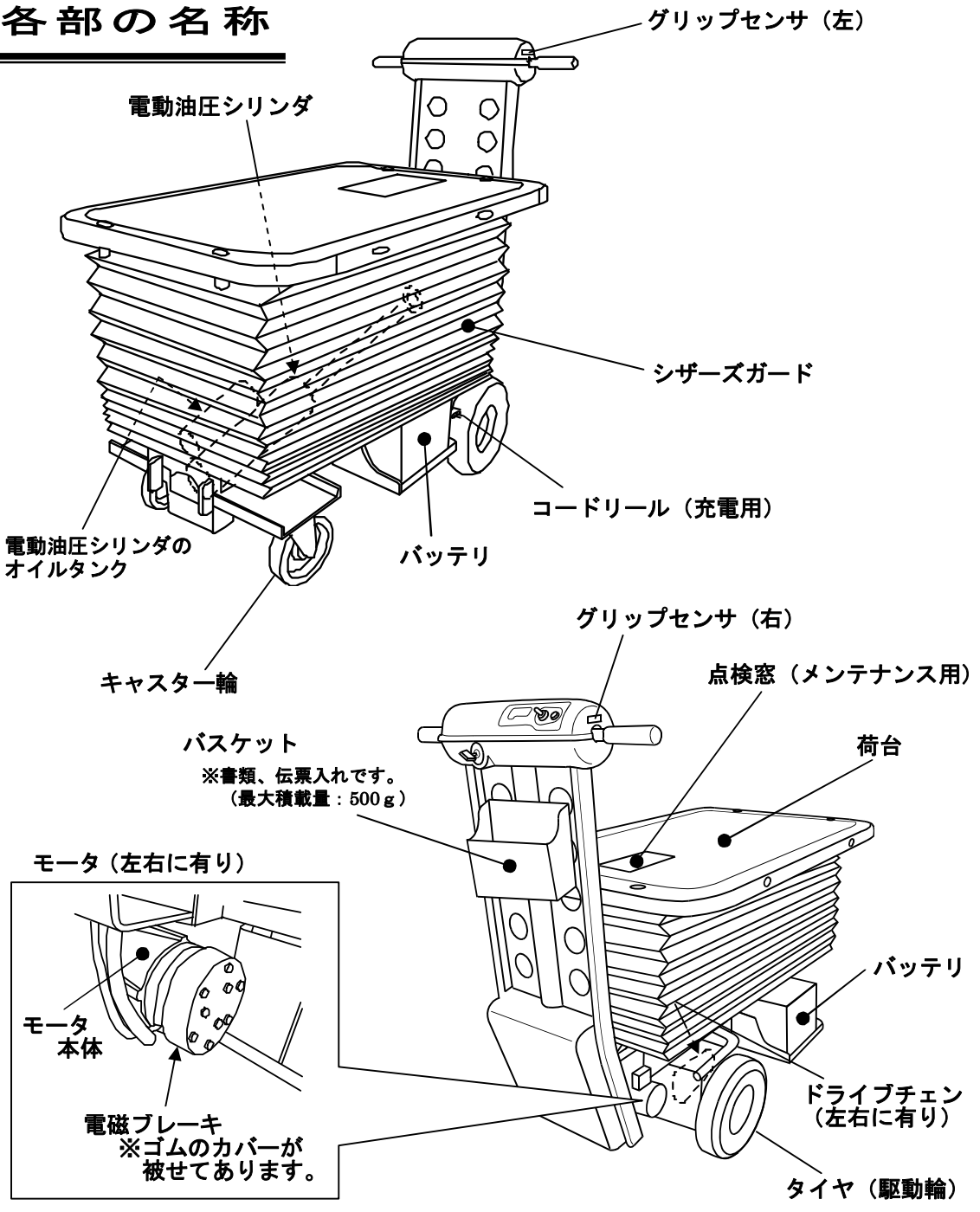
■補修用部品供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後１０年といたします。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期などについてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

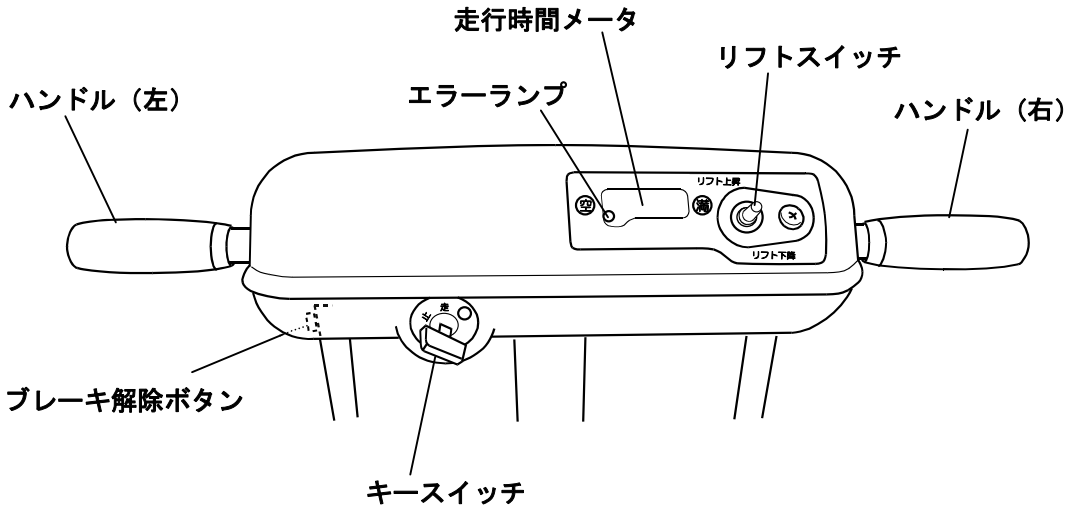
各部の名称とはたらき

各部の名称



※本イラストは「ＭＣ－ＸＲ」型

操作スイッチやレバー・メータの名称とはたらき



■走行時間メータ

・走行時は、最後に充電をしてからの走行時間を、充電中は充電の進み具合を、５個のランプの点灯や点滅でお知らせします。
走行時間は５段階で表示します。
目安として、連続走行をしたときに、３０～４５分程度走行するごとにランプが１個ずつ消灯していきます。
但し、荷台のリフト操作を併用すると、その分消灯が早くなります。
また、バッテリの劣化具合によっても、消灯のタイミングが変わります。

点灯しているランプが残り１個になるまでに充電を行ってください。
残り１個になってから更に使い続けると、やがて「ピッピッピッ、……」と警告音が鳴り続けます。

■エラーランプ

・エラー発生時に点灯します。

■キースイッチ

・電源の「入・切」に使用します。

「止」位置　⇒　充電時・キーを抜く時・格納時

※この位置では、本機は作動しません。
モータの電磁ブレーキが効いた状態であり、
本機は駐車状態となっています。

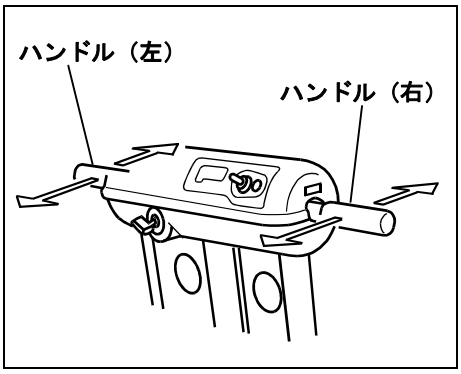
「走」位置　⇒　走行・作業を行う時

「●」位置　⇒　「走」位置と同じです。
今後の追加オプションの為に、標準で設けています。
通常は「走」位置でご使用ください。

■ハンドル

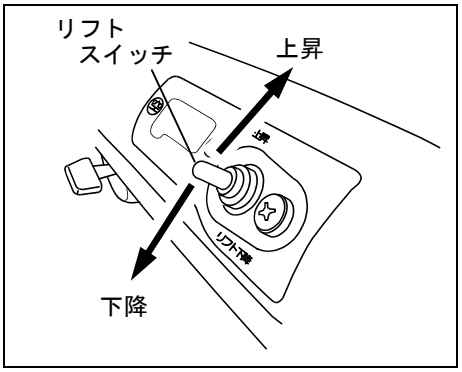
・左右のハンドルを押し引きするだけの「手押し台車」のような操作感覚で、重たい荷物も楽に運ぶことが出来ます。
キースイッチを「走」位置にしたあとで両方のハンドルに手を添えると、モータの電磁ブレーキが解除されます。
左右のハンドルを、共に前方へ押すことで「前進走行」し、共に後方へ引くと「後進走行」します。

機構としては、内部にある歪センサが、ハンドルに加わった力の度合を感知し、走行動力をアシストします。ハンドルの押し引き加減を調整する事で、アシスト力が変化します。
また、左右のハンドルを互いに反対方向に操作すると、左右のタイヤ（駆動輪）中心を旋回点とし、旋回します。
ハンドルから両手を放せば停止し、モータの電磁ブレーキがかかり、駐車状態となります。



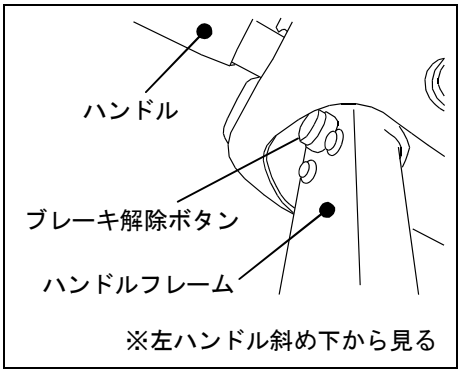
■リフトスイッチ

・荷台の上昇、下降をこのリフトスイッチで行います。
上側に倒すと上昇し、下側に倒すと下降します。また手を放すと中立位置へ自動的に戻ります。



■ブレーキ解除ボタン

・緊急時にブレーキを解除して、手押しして機体を移動させることが出来ます。
キースイッチを入れ、このボタンを押している間、モータの電磁ブレーキが解除されます。



重要 ●非常時以外は使用しないでください。傾斜地で使用すると、機体が思わぬ方向に動く可能性があります。
手押し移動する場合は、必ず補助者と一緒に行ってください。

警報とメータ表示機能

この製品には、使用中に注意を必要とする状態や誤操作である事を、ブザー音と走行時間メータの点滅・点灯にてお知らせする警報機能が付いています。警報の内容に応じて、適切な対処をしてください。

誤発進防止警報　その１

ハンドルを握った状態で、キースイッチを「走」あるいは「●」位置にした時にお知らせします。

種　類	内　容	
誤発進防止警報	走行時間メータの状態	走行時間残量表示のまま
	ブザー	０．５秒間隔で５回鳴ります。 「ピッピッピッピッピッ」
	対処のしかた	ハンドルから両手を放し、ブザー音が消えるまで待ってから、再度両手でハンドルを握り直せば走行出来ます。

誤発進防止警報　その２

キースイッチを「走」あるいは「●」位置の状態で、ハンドルを片手で握って走行しようとした時、あるいは不意に体の一部がハンドルに当ってしまった時にお知らせします。

種　類	内　容	
誤発進防止警報	走行時間メータの状態	走行時間残量表示のまま
	ブザー	０．５秒間隔で３回鳴ります。 「ピッピッピッ」
	対処のしかた	ハンドルに両手を添えてから操作をし直せば、走行出来ます。

放置防止警報　その１

キースイッチを「走」あるいは「●」位置の状態で、３分以上放置した時にお知らせします。

種　類	内　容	
放置防止警報	走行時間メータの状態	走行時間残量表示のまま
	ブザー	０．５秒間隔で「５回×２」鳴ります。 「ピーピーピーピーピーピー、ピーピーピーピーピーピー」 ※キースイッチを「止」位置にするまでの３０分間、３分毎にブザーが鳴ります。
	対処のしかた	安全と省エネのため、速やかにキースイッチを「止」位置にしてください。

放置防止警報　その２

キースイッチを「走」あるいは「●」位置の状態で、１時間以上放置した時ににお知らせします。

種　類	内　容	
放置防止警報	走行時間メータの状態	走行時間残量表示のまま
	ブザー	０．５秒間隔で「５回×２」鳴ります。 「ピーピーピーピーピーピー、ピーピーピーピーピーピー」
	対処のしかた	安全と省エネのため、速やかにキースイッチを「止」位置にしてください。

充電に関する警報およびメータ表示

充電開始時や充電中に、注意を必要とする状態や、誤操作であることをお知らせします。

種　類	内　容	
充電開始案内	走行時間メータの状態	走行時間残量を点滅表示
	ブザー	ブザー音なし
	原因	異常ではありません。 充電コードをコンセントに差し込んだときに、充電が開始されたことをお知らせします。
充電完了案内	走行時間メータの状態	● ● ● ● ●　５個点滅
	ブザー	ブザー音なし
	原因	異常ではありません。 充電が完了したことをお知らせしています。
充電誤操作警報	走行時間メータの状態	○ ○ ○ ● ●　右の２個が点灯
	ブザー	０．１秒以下の間隔で８回鳴ります。 「ピピピピピピピピ」
	原因	充電中にキースイッチを「走」あるいは「●」位置に回した。 または、キースイッチ「走」あるいは「●」位置で充電を開始した。
	対処のしかた	キースイッチを「止」位置に戻します。 ※警報作動中も充電は実施されています。

使用中の警報

使用中、注意を必要とする状態や誤操作であることをお知らせします。

種　類	内　容	
充電警報	走行時間メータ表示	走行時間残量表示のまま
	ブザー	０．５秒間隔で３回を繰り返し鳴らします。 「ピッピッピッ、ピッピッピッ、……」
	原因	充電を行うタイミングがきています。
	対処のしかた	速やかに充電をしてください。
バッテリ残量 ゼロ警報	走行時間メータ表示	○ ○ ○ ● ○ 右から２番目のみ点灯
	ブザー	０．５秒間隔で５回鳴ります。 「ピッピッピッピッピッ」
	原因	バッテリがなくなり停止してしまいました。
	対処のしかた	速やかに充電をしてください。
操作荷重 オーバー警報	走行時間メータ表示	走行時間残量表示のまま
	ブザー	０．５秒間隔で５回鳴ります。 「ピッピッピッピッピッ」
	原因	ハンドル（歪センサ）に過大な力が加わっています。
	対処のしかた	一度ハンドルから手を放し、再度操作をし直してください。もし、大きな段差等でタイヤが乗り越えられないような場合は、緩やかなスロープを設置するか、段差をさけて走行してください。
誤操作防止警報	走行時間メータ表示	表示なし
	ブザー	０．１秒間隔で５回鳴ります。 「ピピピピピ」
	原因	ブレーキ解除ボタンを押したまま、キースイッチを「走」あるいは「●」位置に回した。 ※この場合は、電磁ブレーキは開放されません。
	対処のしかた	電磁ブレーキを開放したい場合は、キースイッチを「走」あるいは「●」位置にした状態で行ってください。 通常走行をしたい場合は、そのまま両手でハンドルを握れば走行可能です。

作業の準備

使用前の点検について

■始業点検

故障を未然に防ぐには、機械の状態をよく知っておくことが大切です。始業前点検は毎日欠かさず行ってください。

点検は次の順序で行ってください。

(1) 前日、異常のあった箇所の整備
異常のままで使用しないでください。支障がある場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

(2) Ｐ４６～Ｐ４７＜定期点検整備箇所一覧表＞の
点検時期［始業］の欄に○印が付いている項目の点検を行ってください。

(3) 走行して
・走行は正常に出来るか？荷台の上下操作は正常に出来るか？
・異常を感じたらお買い求めの販売店にご相談ください。

運転のしかた

走行のしかた

⚠危険

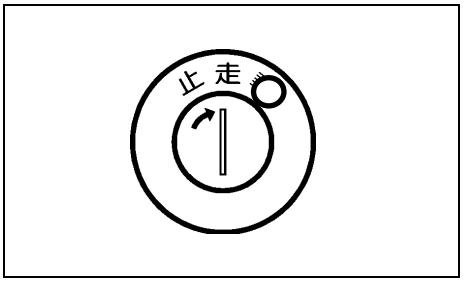
- ●転落・転倒する恐れがあります。傾斜地（３°以下）・軟弱地・段付近等では、十分注意して使用してください。
- ●転落・転倒・衝突の恐れがあります。
  いかなる場合も機体の上に乗って運転してはいけません。
- ●障害物に、はさまれる恐れがあります。進行方向の安全を常に確認してください。
- ●停止できない恐れがあります。傾斜地（３°以上）の路面では使用してはいけません。

⚠警告

- ●運転中、または回転中に回転部（ベルト・チェン・プーリ）に触れると怪我をします。触れないでください。
- ●周囲の人に接触し、怪我をさせる恐れがあります。周囲の人にぶつけたり、足を踏みつけたりしないよう、十分注意して使用してください。

■発進のしかた

(1)　ハンドルから手を放した状態で、キースイッチを右に回し「走」位置にしてください。



重要 ●安全機能として、不意にハンドルに触れたりしたとき、誤って急発進したりしないよう、両手でしっかりとハンドルを握ってからでないと発進しない機能を装備しています。

ハンドルに手を添えた状態でキースイッチを「走」位置にすると、エラー

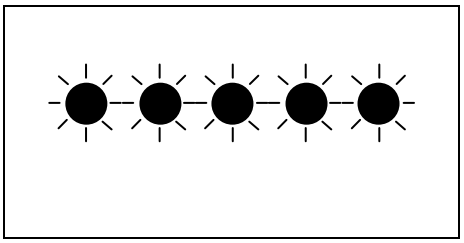
表示をし、「ピッピッピッピッピッピッピッピッ」と警報が鳴り、発進しません。この場合ハンドルから手を放してしばらく待ち、キースイッチを入れ直してください。

●本機を使用しない時は、必ずキーを抜いて保管してください。

●休憩時間など、しばらくの間使用しない場合は、キースイッチを「止」位置にするよう心がけてください。

※「止」位置にしないで放置していると、キースイッチの「切り忘れ防止機能」が作動し、最初は３分ごとに、３０分経てば以後１時間ごとに「ピーピーピー，ピーピーピー」と２回警報音を発します。ます。

(2)　走行時間メータで「走行時間」の残りが十分あることを確認してください。



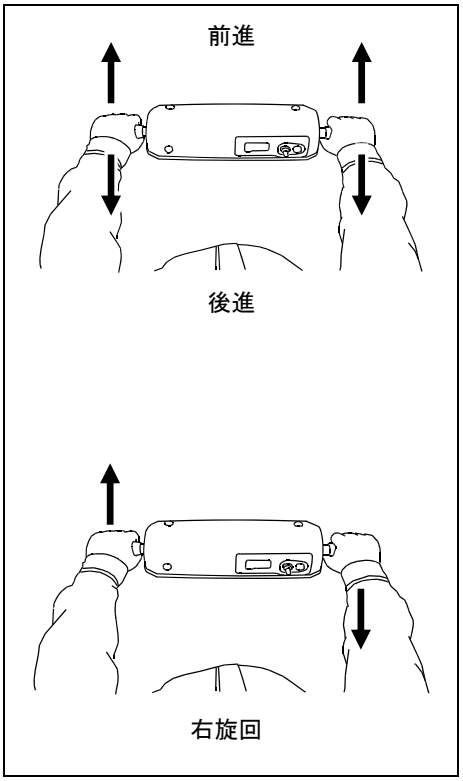
(3)　左右のハンドルをしっかりと握ります。

(4)　左右のハンドルを共にゆっくりと前方へ押すと「前進」、後方へ引くと「後進」します。

(5)　旋回する時は左右のハンドルを反対方向に操作します。下記に前進している場合の動きを説明します。

・右ハンドルを後方へ引き……右旋回
　左ハンドルを前方へ押す

・右ハンドルを前方へ押し……左旋回
　左ハンドルを後方へ引く



重要 ●左右のハンドルにしっかりと手を添えて操作してください。
Ｐ２１「各部の名称」に示す「グリップセンサ」が左右の手を感知しています。

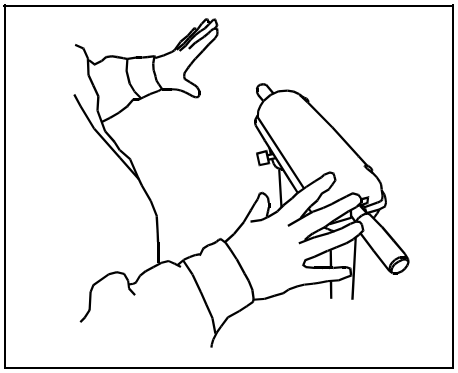
●危険回避機能として、ハンドルを押し引きする力が必要以上に強すぎる場合は、「操作荷重オーバー警報」が作動し、エラー表示と共に警告音を鳴らし、本機を停止させます。
また片側のハンドルだけに手を添えて、そのハンドルを押し引きすると、同様のエラー表示をし、走行出来ません。

●本機が走行中であれば、片側のハンドルから手を放しても、手を放した側のモータはそのままフリーで回転します。（走行中は片側ハンドル操作可能です。）但し、この場合でも一旦停止してしまえば、更にそのまま片手で押し引きした時点でエラー表示となり、走行出来ません。

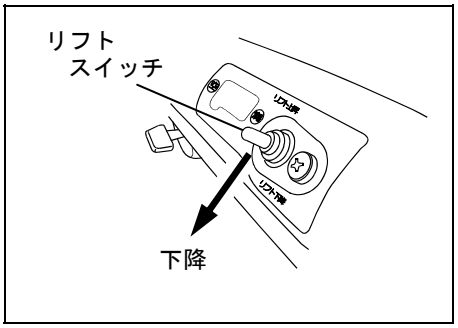
●キャスター輪の特性で、発進時や走行中に少し振られることがあります。
周囲の作業者の安全にも配慮し、十分注意して運転してください。

■一時停止・駐車

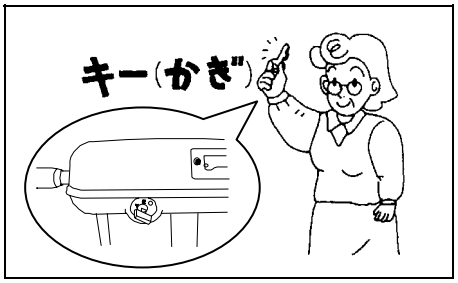
(1)　ハンドルにかけている力を抜いてください。機体が停止します。ハンドルから手を放すと駐車ブレーキ（モータの電磁ブレーキ）がかかります。



(2)　リフトスイッチを操作し、荷台を最下位まで下げておきます。



(3)　機体から離れる時は、キースイッチを「止」位置にし、キースイッチからキーを抜いてください。



重要 ●荷物を積んで走行するときは、積載量に応じて制動距離が変わります。十分注意して慎重に運転してください。

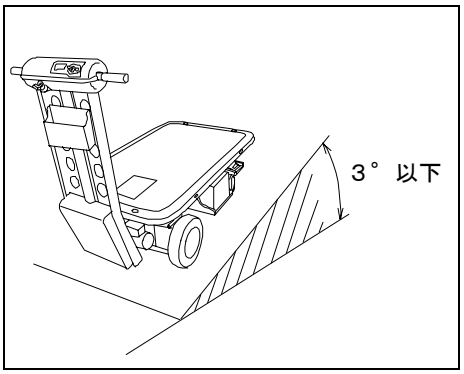
●車両から離れるときはキースイッチを切ったのち、キースイッチからキーを抜き取り、輪止めをしてください。
また傾斜地には駐車しないでください。駐停車する場所は、広い平坦な地面の硬い場所を選んでください。車両が動き出したりして大変危険です。

■傾斜地での運転

⚠危険 ●停止できない恐れがあります。傾斜地（3°以上）の路面では使用してはいけません。

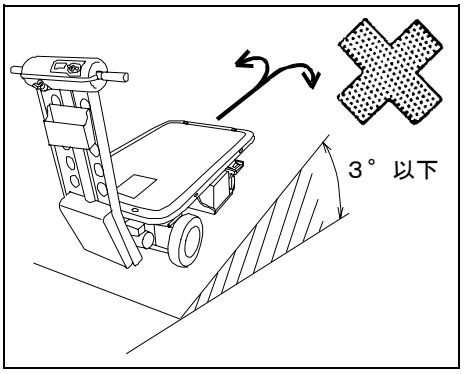
●傾斜地（3°以下）・軟弱地・段差付近等では、十分注意して使用してください。

(1)　本機は平坦地専用車です。
3°以下の傾斜地で使用してください。

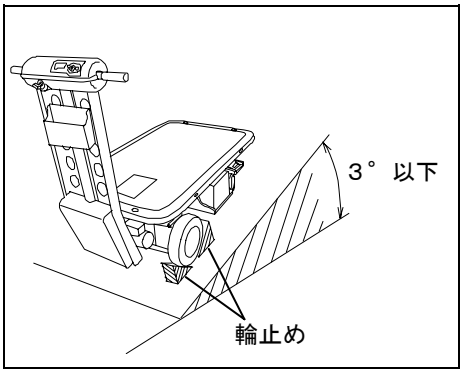


(2)　傾斜地（3°以下）・軟弱地・段差付近などでは、速度を落として十分に注意して使用してください。転倒の恐れがあり、大変危険です。

また傾斜地を横切ったり、斜めに走行したり、傾斜地でのUターンや旋回走行は避けてください。機体が思わぬ方向へ動き、事故につながります。



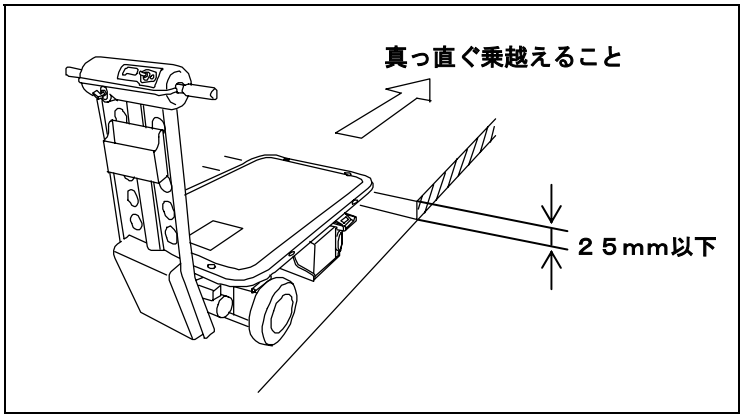
(3)　やむをえず傾斜地で駐車をする場合は、キースイッチを「切」位置にし、キースイッチからキーを抜き取り、必ず輪止めをしてください。



重要
- **転倒の恐れがありますので、特に傾斜地では急な操作や急な旋回をしないでください。**
- **傾斜地の状況に応じた安全なスピードで走行してください。スピードを出しすぎると、思わぬ傷害事故を引き起こす恐れがあります。**
- **荷物を積んで傾斜地（3°以下）を走行する時は、作業者が坂上になるようにして運転してください。**
  キャスター輪の特性で、走行中少し振られることがありますので、速度を落として十分注意して運転してください。
  また傾斜地を横切ったり、斜めに走行したり、傾斜地での旋回走行は避けてください。機体が思わぬ方向に動き、事故につながります。

■その他の走行時の注意

凹凸はできるだけ避けて、機体にショックがかからないようにしてください。もし凹凸越えをする場合は、必ず真っ直ぐに乗り越えてください。



重要 ●２５ｍｍ以上の段差がある所を走行する場合は、必ず緩やかなスロープを設置してください。

積載要領

■最大作業能力

⚠警告 ●転倒の恐れがあります。最大積載量、および最大リフト作業能力以上は積載しないでください。

積載量は右表の通りです。
必ず守って安全に作業を行ってください。

単位：ｋｇ

勾　配	ﾘﾌﾄ最大作業能力（積載量）	最大作業能力
平坦地および傾斜地（3°以下）	３００	５００

■バランス

⚠危険 ●荷物の落下がおこる恐れがあります。荷物は緊急停止にも備え、偏荷重などを避けバランス良く積載し、荷崩れを起こさないよう、ロープなどで固定してください。

安全に効率よく作業するため、バランスよく積載してください。

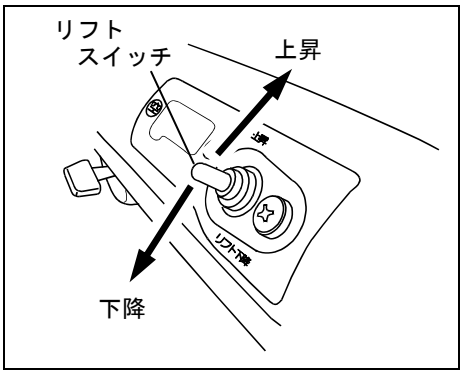
重要 ●荷物を積んで走行するときには、積載量に応じて制動距離が変わります。十分注意して慎重に運搬してください。
●荷物を高く積まないでください。重心が高くなり、積荷のバランスが悪くなり、落下等事故の原因となり大変危険です。
●やむを得ず、積荷が高くなる場合は、荷くずれしないように確実にロープ等で固定し、ゆっくりと微速にて運搬してください。

リフト操作

⚠危険 ●転倒・転落・荷物の落下の恐れがあります。荷物運搬時は、荷台を下ろした状態で移動してください。
●荷台が下降し、はさまれる恐れがあります。手や足を荷台部へ入れないでください。
点検整備などを行なう時は、必ず落下防止を施してください。

■荷台リフト作業のしかた

・荷台のリフト作業（上昇・下降）は、リフトスイッチで行います。
リフトスイッチを上側に倒すと上昇し、下側に倒すと下降します。
また手を放すと荷台の動きが停止します。



重要 ●シザーズガードに手・足・身体で触れたり、突いたりしないでください。シザーズガードの中にはリフト機構等の可動部が収納されています。不用意に触れると怪我をする恐れがあります。
●荷台のリフト操作を行う場合は、必ず車両を停止させた状態で行ってください。
●走行中のリフト操作は、電動油圧シリンダの破損につながります。絶対にしないでください。
●荷台下降状態からリフトスイッチを操作し、荷台を上昇させても、リリーフ弁が作動（「ピー」という音が出ます）して荷台が上昇してない場合は、荷物の積みすぎです。その場合は積荷を減らしてください。また荷台上昇・下降とも、リリーフ弁は２秒以上作動させないでください。油温上昇や作動不良の原因となります。リリーフ弁が作動したら、速やかにリフトス

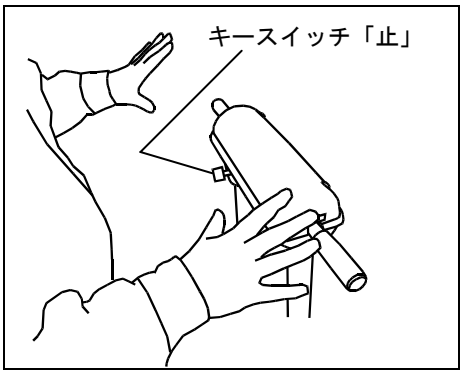
イッチから手を放し、電動油圧シリンダの動きを止めてください。

●連続３０秒以上の操作はしないでください。また連続して荷台のリフト作業を繰り返す場合は、３～５分のインターバルを設けてください。
このサイクルを越える範囲で使用すると、発熱により電動油圧シリンダに内蔵されたサーキットブレーカが作動しシリンダの動きを停止させます。
しばらくして冷却されれば、再度使用が可能となります。

緊急時の対応

■緊急停止のしかた

ハンドルから手を放し、キースイッチを「止」位置にしてください。



重要 ●車両が急停止し、積荷が落下するばかりでなく、場合によっては急停止による転倒や、それにより車両や路面を傷つける可能性があります。
緊急時以外は緊急停止の操作をしないでください。

充電のしかた

充電に関する一般的な注意

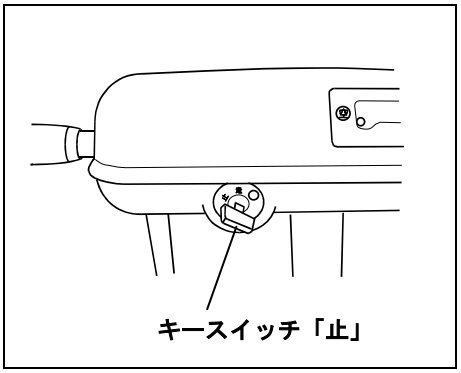
⚠警告
- ●引火爆発の恐れがあります。
  充電中バッテリに火気を近づけないでください。
- ●充電中は、バッテリから可燃性のガスが発生しますので、火気（ストーブ・たばこの火等）のある場所では充電しないでください。
- ●感電の恐れがあります。
  濡れたプラグや濡れた手で充電しないでください。
- ●手の水分は拭き取ってください。
- ●濡れたプラグはよく乾燥させてください。

■直射日光や雨・露の影響を受けない、風通しのよい湿気の少ない場所で充電してください。
■バッテリの性能や寿命を低下させないために、必ずお守りください。

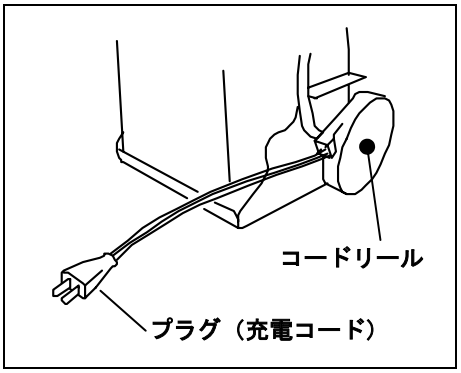
重要
- ●使用後の放置は、バッテリを劣化させます。使用後は、必ず内蔵の充電器で充電してください。
- ●走行時間メータが４個または３個点灯していても、使用後はできるだけ速やかに（遅くとも使用した日のうちに）充電を始めてください。
- ●バッテリの使い過ぎ（過放電）は避けてください。バッテリの寿命が短くなります。
- ●バッテリは自然放電します。長期間使用されないときも１カ月に１度は充電してください。
- ●充電が完了するまで充電コードをコンセントから抜かないでください。
  緊急で使用する場合は、充電を途中で中断しても構いませんが、使用後には充電を完了するまで行ってください。
- ●他の充電器は使用しないでください。

充電作業

(1)　キースイッチを「止」位置にしてキーを抜いてください。



(2)　機体左側バッテリ側面にある充電コードを引き出し、プラグを家庭用ＡＣ１００Ｖコンセントに差し込んでください。充電を開始します。



重要 ●充電コードには「これ以上引っ張りだしてはダメです！」という目印として、赤いテープが貼ってあります。このマーク位置以上には引っ張りださないでください。コードが戻らなくなります。

⚠注意 ●発熱・破損の恐れがあります。
プラグの抜き差しは確実に行ってください。また、プラグは根元まで差し込んでください。

(3)　充電が進行するにつれ、ランプの点滅個数が多くなり５個点滅すれば充電です。

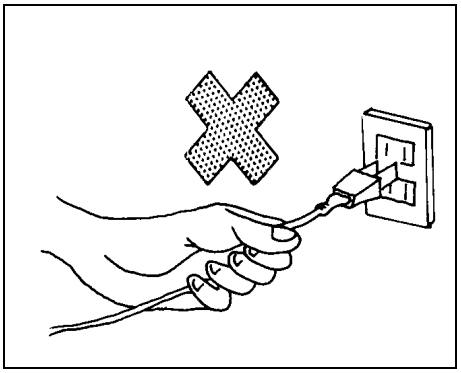
※走行時間メータの表示が左２個点滅から充電を開始した場合、走行時間メータの表示は次のようになります。

走行時間メータの表示	表示の意味
 順次点滅個数が増加 （５個全部点滅）	充電中 ↓ 充電完了

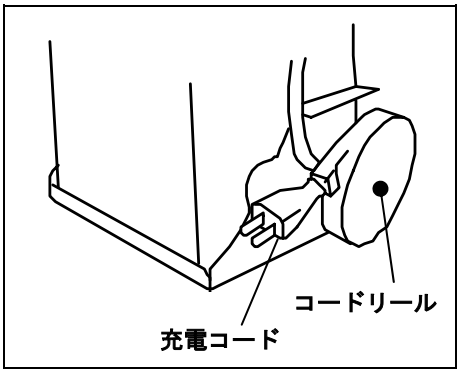
重要 **●前回の使用時間にもよりますが、約６～１０時間ほどで充電は完了します。**

(4)　充電が完了したらプラグを抜いて、充電コードをコードリール内に収納してください。（コードを少し引くと自動的に巻き取られます。）

重要 **●プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜いてください。**



重要 ●充電コードが断線する恐れがありますので充電コードはコードリール内に確実に収納してください。



重要 **充電器の電源コードの取り扱いは、以下のことを守ってください。**

●電源コードを傷つけたり、加工することはしない。
●電源コードを無理に曲げる、ねじる、引っ張るなどしない。
●電源コードの上に重い荷物を乗せたりしない。
●電源コードが損傷（断線や芯線の露出等）している状態で使用しない。

火災・感電の原因となります。異常があるときは使用せずにお買い求めの販販売店にご相談ください。

バッテリについて

バッテリの交換

■バッテリの交換が必要な場合は、必ずお買い求めの販売店にご相談ください。

ーバッテリは消耗品ですー

●使用期間とともに、バッテリ容量が低下し、走行できる距離が短くなります。
●バッテリの寿命は、平坦路に比べ、坂道の多い場所で使用する場合の方が短くなります。
●バッテリの寿命は、使用条件（使用頻度・走行距離）や使用場所（坂道・平坦路）などにより異なります。
●使用後の放置は、バッテリを劣化させます。使用後は、必ず内蔵の充電器で充電してください。
●走行時間メータのランプが４個または３個の状態でも、使用後はできるだけ速やか（遅くとも使用した日のうちに）に充電するよう心がけてください。
●バッテリの使い過ぎ（過放電）は避けてください。バッテリの寿命が短くなります。
●走行時間メータのランプが ●○○○○ になるまでの時間が短くなり、使用に支障をきたし始めたら、早目にバッテリを交換してください。
●交換するときは２個同時に行なってください。
交換の際は、お買い求めの販売店にご相談ください。

重要 ●バッテリの交換が必要な場合は必ず指定の純正品を使用してください。
これ以外のバッテリを使用すると性能、寿命の保証ができません。

純正バッテリ
ジーエス・ユアサ　　ＳＥＲ３８－１２

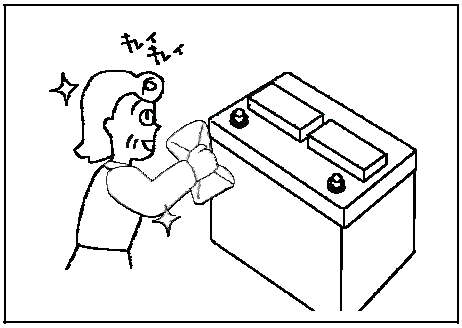
バッテリの取扱い

■バッテリの清掃などで直接バッテリに触れる場合は、バッテリ本体に貼りつけているラベルをよく読み、必ずその指示に従ってください。

⚠注意
- ●清掃などで直接バッテリに触れる場合は、必ずキースイッチを「止」の位置にし、充電コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- ●バッテリを持ち上げる場合は、取手あるいはバッテリの本体下部をしっかり持って行ってください。
- ●バッテリを分解・改造しないでください。
- ●バッテリを生命維持装置の電源等、他の用途には使用しないでください。
- ●使用済みのバッテリは、そのまま廃棄したり、火の中へ投入したりしないでお買い求めの販売店にご相談ください。

⚠危険
- ●静電気の発生を防止するため、清掃するときは水気を良く絞った濡れ布で、汚れを拭き取ってください。。

■バッテリに水やほこり・ゴミ等が付着していると、バッテリが放電しやすくなりますので、水気を良く絞った濡れ布等で丁寧に拭き取ってください。



作業のしかた

点検・整備

⚠警告

- ●機械が不意に動き出し、事故を起こす可能性があります。
  点検・整備は、平坦な広い場所で行ってください。
- ●荷台を上げた状態で点検・整備をするときは、荷台の落下防止措置を施してください。
- ●充電中は点検・整備を行わないでください。
- ●点検・整備は、必ずキースイッチを「止」位置にして行ってください。
- ●電装品の点検・整備を行う際は、必ずキースイッチを「止」位置にし、バッテリーの ターミナルを外してから行ってください。
- ●発火・火災の恐れがあります。端子台からターミナルを外す場合は、必ずバッテリ側のターミナル、または中継部のカプラを先に外してください。

⚠注意　［始業前点検整備項目について］

運行前点検を必ず行い、確実に整備をしてから運転してください。

- ・車体、ハンドル、荷台等の外観・状態は正常ですか。
- ・ボルト・ナット類の緩み、脱落はありませんか。
- ・タイヤの外観・状態は正常ですか。
- ・潤滑油や作動油の量は適正で、漏れ等はありませんか。
- ・チェン等の磨耗や損傷はありませんか。
- ・駐車ブレーキは確実に効いていますか。

保安部品（ブレーキ、操作系統）の点検は特に入念に行い、異常発見の場合は、必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。

※安全を確認せずに点検・整備を行うと、思わぬ傷害事故を引き起こす恐れがあります。

重要 ●点検・整備を怠ると、事故の原因となることがあります。本製品の正常な機能を維持し、いつも安全な状態で運転、または作業を行うために、＜定期点検整備箇所一覧表＞を参考にして、点検・整備を行ってください。

●年次点検は１年に１回、月次点検は１ヶ月に１回、始業点検は作業を開始する前に毎日、必ず行うようにしてください。

●＜定期点検整備箇所一覧表＞の中には、専門的な知識を必要とするものや所定の工具や計器が必要なものが含まれています。お客様自身で実施出来ない点検・整備内容についてはお買い求めの販売店へ依頼してください。

＜定期点検整備箇所一覧表＞

項目	点検箇所	内　　容	点検時期			備　　考
			始業前	月次	年次	
車体	車体、及びカバーの亀裂や変形。	亀裂や変形がないこと。	○	○	○	
	ボルト、ナットの緩み、脱落の有無。	緩みや脱落がないこと。	○	○	○	
ハンドル及び駆動装置	ハンドル（アシスト機能）の作動。	異常ないこと。	○	○	○	
	グリップセンサの作動。	異常ないこと。	○	○	○	
	モータの作動。	回転に異常ないこと。	○	○	○	
		異音がないこと。	○	○	○	
	タイヤ（駆動輪）の傷や摩耗。	著しい傷や摩耗、変形がないこと。	○	○	○	
	キャスター輪の傷や摩耗、変形。	著しい傷や摩耗、変形がないこと。	○	○	○	
	ドライブチェンの伸びと損傷。	伸び、錆び、損傷や硬化がないこと。	○	○	○	お買い求めの販売店へ点検・整備を依頼してください。
	駆動部のボルト、ナットの緩み、脱落の有無。	緩み、脱落がないこと。	○	○	○	
ブレーキ装置	電磁ブレーキの作動。	左右ともハンドル操作用に、「カチッ」と開放音がすること。	○	○	○	
		停車状態で本体を押してみて、確実にブレーキが効いていること。	○	○	○	
電動油圧シリンダ	タンクからの油漏れ。	周囲に油がないこと。		○	○	
	荷台の自然落下の有無。	著しい降下がないこと。	○	○	○	

項目	点検箇所	内　　容	点検時期			備　　考
			始業前	月次	年次	
基板及び電装品	配線、ケーブルの損傷。	損傷がないこと。	○	○	○	お買い求めの販売店へ点検・整備を依頼してください。
	被覆の損傷。	被覆がはがれ、他の部品にショートしていないこと。	○	○	○	
	端子の緩み。	緩みがないこと。	○	○	○	
	コネクタの抜け。	コネクタが抜けかかってないこと。		○	○	
	各スイッチの作動。	異常ないこと。	○	○	○	
充電器	異常表示のないこと。	走行時間メータの充電中の表示に異常がないこと。	○	○	○	
	充電機能。	充電完了時、バッテリ電圧が１３Ｖ以上（片側）に回復していること。		○	○	

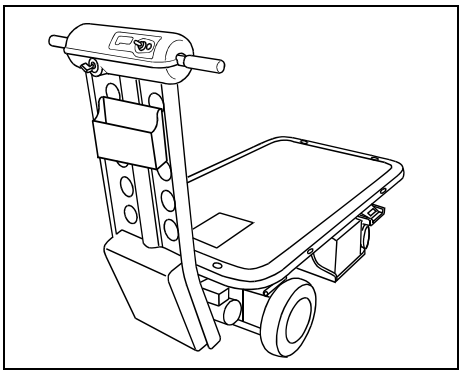
＜給油・給脂箇所一覧表＞

項目	油の種類（推奨品）	補給時期	給油・給脂量
各支点及び摺動部	グリース　エクセライト№.２ （メーカ：協同油脂）	６ヶ月毎 ※必要に応じ給脂	適量

各部の点検・整備のしかた

■外周り（車体周り）の点検

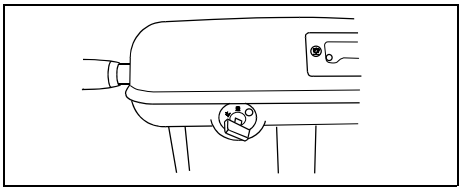
車体の周りをひとまわりし、機体、タイヤ等に異常がないか調べます。



(1) 機体の姿勢
大きく傾いている場合は、タイヤやキャスター輪が摩耗していたり、その他足まわりの部品に故障が生じている場合があります。注意して調べてください。

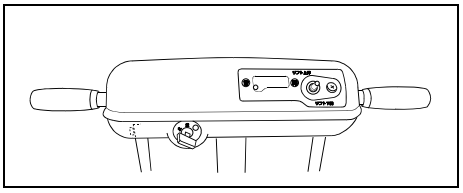
(2) 機体の下側を覗いて
機体を停めていた場所（地面）にオイルの濡れた痕がないか、また異常なところはないか調べ、異常が認められる場合はお買い求めの販売店へ依頼して、点検を受けてください。

(3) タイヤ（駆動輪）の点検
接地面の摩耗が進むと、スリップ事故につながる恐れがあります。著しい摩耗や損傷がある場合はお買い求めの販売店へ依頼して、点検を受けてください。



(4) キースイッチの点検
無理なくキーの抜き差しが出来、ガタ等なく確実に作動することを確認します。

(5) 各スイッチ・センサーの点検
ハンドルやスイッチ等各部を操作してみて機体が正常に動作することを確認します。少しでも異常が感じられたら、直ちにお買い求めの販売店に依頼して、点検を受けてください。



手入れと格納

⚠危険 **●火気のある場所、および高温な場所に、本機、およびバッテリ等を格納しないでください。火災の原因となります。**

■日常の格納

日常の格納、および短期間の格納は、次の要領で行ってください。

(1)車体はきれいに清掃しておきましょう。

(2)格納場所は、屋内に限定してください。

(3)荷台は必ず降ろしてください。

(4)厳寒時はバッテリを外して、暖かい室内等に保管してください。

重要 **●本製品は、水洗いは禁止です。電気部品に水がかかると、誤作動や故障、ショートによる発火の可能性があります。**
水気をよく絞った布で、電気部品以外の箇所を清掃してください。

■長期格納

長い間（３０日以上）使用しない場合は、きれいに清掃し、次の要領で格納してください。

(1)車体はきれいに清掃しておきましょう。

(2)不具合箇所は整備してください。

(3)給油箇所に給脂してください。

(4)荷台は必ず降ろしてください。

(5)各部のボルトやナットの緩みを点検し、緩んでいれば締めてください。

(6)格納場所は、屋内に限定してください。

(7)キースイッチからキーを抜いてください。

(8)充電を行って満充電にした後、バッテリのアース側（㊀側）ケーブルを外しておいてください。

(9)湿気やほこりの多い場所での格納は避けてください。
また格納時には、出来れば機体にカバーをかけてください。

重要 **●**長期間保管する場合も、必ず１ヶ月に一度は充電してください。バッテリは、保管中も自己放電によって電気が逃げています。そのまま放置するとバッテリ容量が回復しない場合があり、バッテリの交換が必要となります。

不調時の対応のしかた

不具合と考えられる現象が起きた場合は、本機の使用を停止し、下記＜不具合診断表＞を参照して、適切な処置をしてください。
＜不具合診断表＞に記載されていない不具合が発生した場合や、適切な処置を行っても不具合が解消されない場合は、お買い求めの販売店まで連絡してください。処置については、専門的な整備知識を必要とするものもありますので、整備が難しいものについてはお買い求めの販売店に依頼してください。

※処置右端の欄に●印のある項目については、
お買い求めの販売店に依頼してください。

＜不具合診断表＞

不具合内容	考えられる原因	処置	
前・後進出来ない 発進出来ない	キースイッチの入れ忘れ。	キースイッチを「走」位置にする。	－
	電気配線（コネクタ）の接触不良・または断線。	修理する。	●
	バッテリの充電不足。	充電する。	－
	バッテリの寿命。	バッテリを交換する。	－
	グリップセンサ部の汚れ。	センサシールド（透明のシール）の汚れ除去、またはセンサシールドの交換。	●
		グリップセンサのレンズ部分の汚れ除去。	－
	グリップセンサの異常。	グリップセンサを交換する。	●
	歪センサの異常。	歪センサを交換する。	●
	モータの焼き付き。	モータ交換・修理。	●
	モータの減速機（内部ギヤ）破損。	モータ交換・修理。	●
	電磁ブレーキの固着。	プラスチックハンマー等で衝撃を与え（電磁ブレーキを傷めないようにモータ本体を軽く叩く）、固着を解除する。	－
	電磁ブレーキの異常。	モータ修理・交換。	●
	ドライブチェンの損傷。	ドライブチェンを交換する。	●
	基板の異常。	基板を交換する。	●
直進出来ない	タイヤ（駆動輪）の偏摩耗。	タイヤ（駆動輪）の交換。	●
	キャスター輪の異常。	キャスター輪の交換。	●
荷台のリフト操作が出来ない	キースイッチの入れ忘れ。	キースイッチを「走」位置にする。	－
	電気配線（コネクタ）接触不良、または断線。	修理する。	●

不調時の対応のしかた

※処置右端の欄に●印のある項目については、
お買い求めの販売店に依頼してください。

＜不具合診断表＞

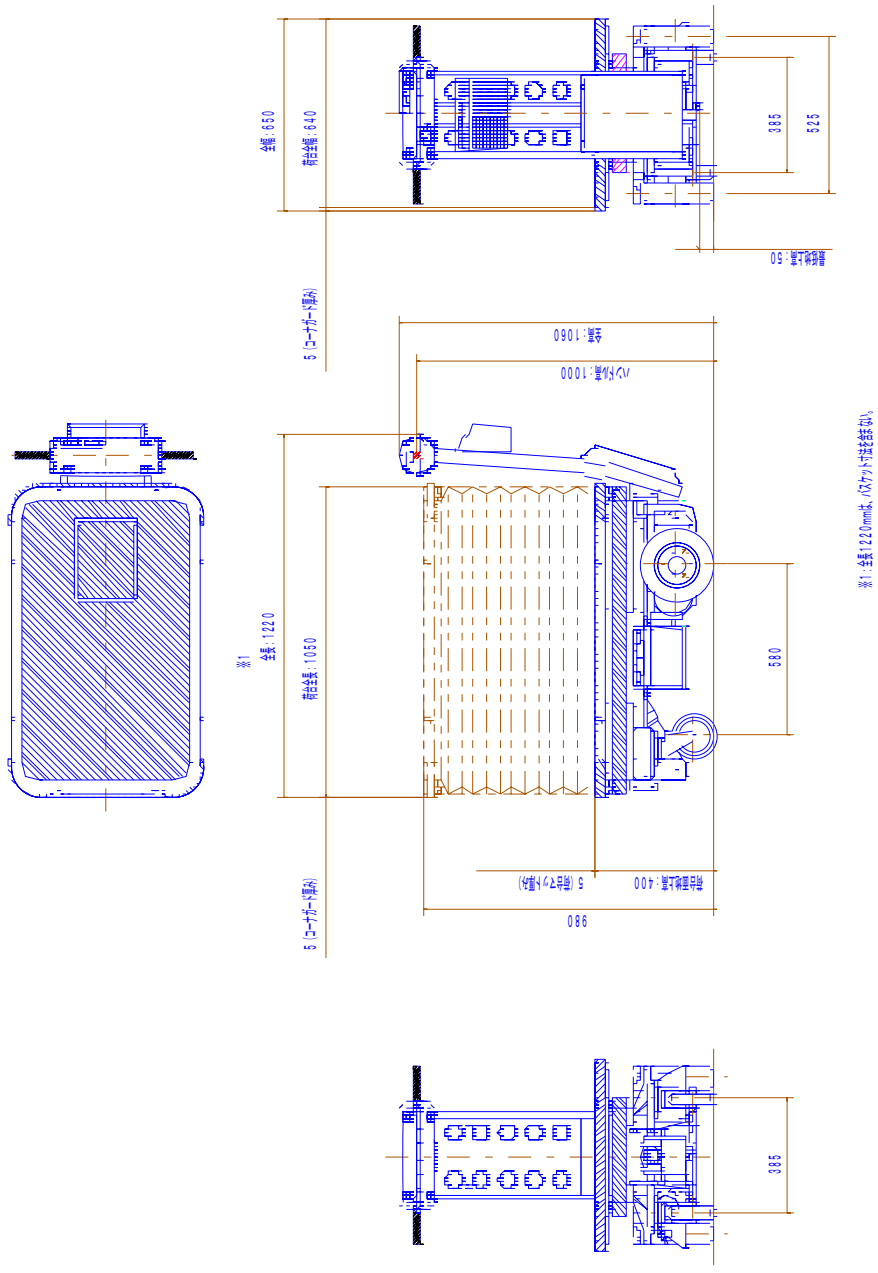
不具合内容	考えられる原因	処置	
荷台のリフト操作が出来ない	リフトスイッチの異常。	リフトスイッチを交換する。	●
	電動油圧シリンダの異常。	電動油圧シリンダを交換する。	●
荷台の自然落下	電動油圧シリンダの異常。	電動油圧シリンダを交換する。	●
充電が出来ない	電気配線（コネクタ）の接触不良、または断線	修理する。	●
	バッテリの寿命。	バッテリを交換する。	－
	充電器の異常。	充電器を交換する。	●
	ＡＣ１００Ｖ電源の異常。	ＡＣ１００Ｖ電源異常の原因を取り除く。	－
	コードリールの断線。	コードリールの交換。	－
車体が異常振動する	タイヤ（駆動輪）の偏摩耗。	タイヤ（駆動輪）の交換。	●
	キャスター輪の異常。	キャスター輪の交換。	●
	各締付ボルト・ナットの緩み。	原因を取り除き、締付け直す。	－
走行中異音がする	ドライブチェンの伸び。	ドライブチェンの張り調整を行う。または交換する。	●

サービス資料

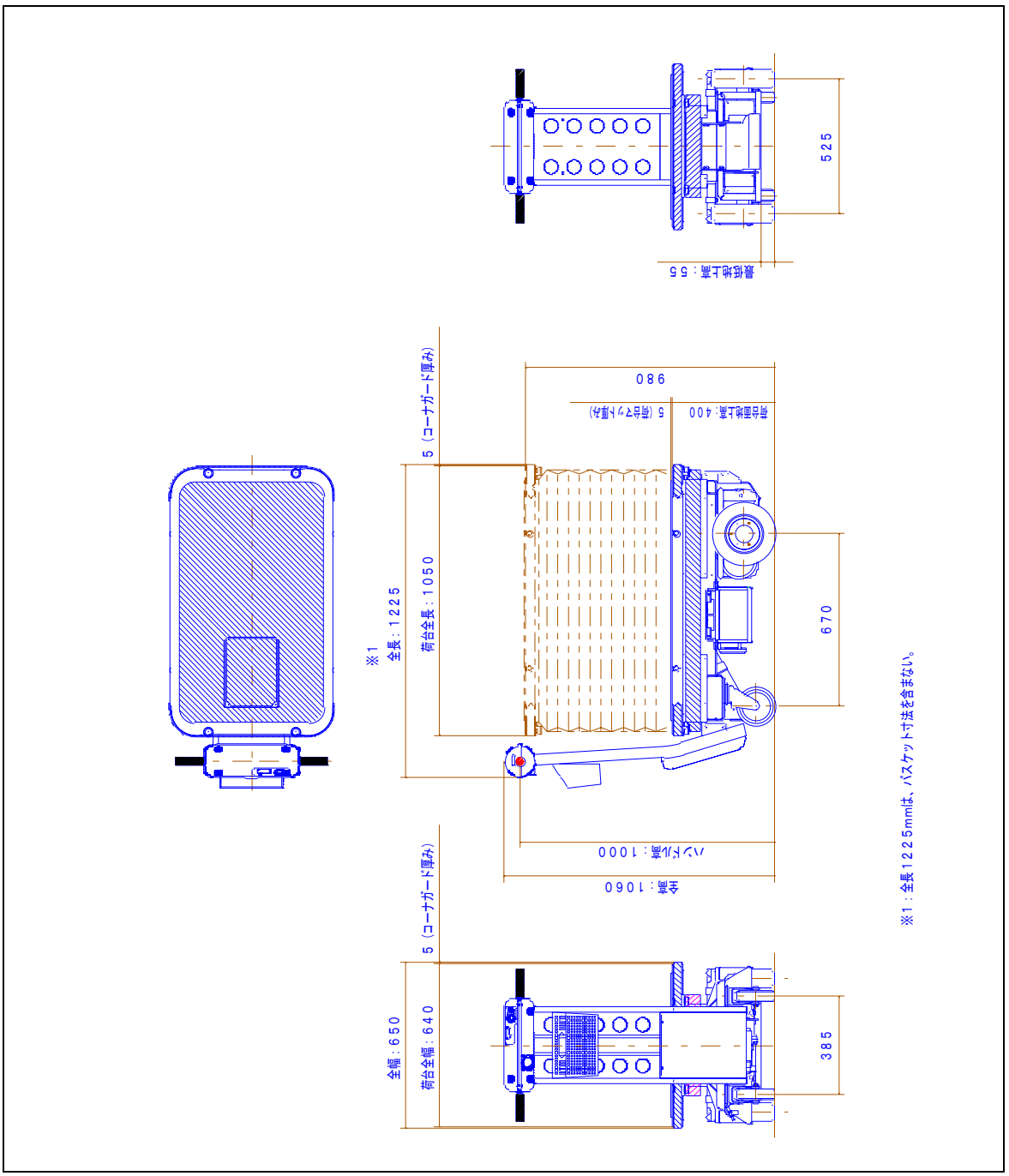
主要諸元

名　　称		電動アシストカート	
型　　式		ＭＣ－ＸＲ	ＭＣ－ＸＦ
機体寸法［全長×全幅×全高］(㎜)		1220×650×1060	1225×650×1060
荷台寸法［長×全］(㎜)		1050×640	
荷台面地上高(㎜)		400	
本体重量（kg）		159（総重量：185）	
駆動方式		後２輪駆動 ２モータ電動アシスト	前２輪駆動 ２モータ電動アシスト
制動方式		電磁ブレーキ	
バッテリ（5 時間率容量）		１２Ｖ３２Ａｈ ×２個（シールド鉛電池）	
モータ（定格出力）		ＤＣ２４Ｖ／２００Ｗ ×２個	
車輪	駆動輪	Φ250　3.00-5（ノーパンク）	
	従動輪	Φ150　ゴム車輪キャスター（自在輪）	
最高速度	前進（km/h）	0～5.5　無段階	
	後進（km/h）	0～5.5　無段階	
使用最大傾斜角度（度）		３以下	
段差乗越え高さ（㎜）		２５以下	
最小回転半径（㎜）		８６０（機体最外側）	１０００（機体最外側） ※バスケット部除く
連続走行可能時間（ｈ）		約３時間 ※300kg 積載時、テストパターンにて	
最大作業能力（kg）		５００	
作業部（リフト装置）	リフト部仕様	電動油圧シリンダ（ストローク：350㎜）	
	リフト時最大作業能力（kg）	３００	
	リフト昇降時間（秒）	上昇：約３０ 下降：約２５ ※３００ｋｇ積載時(リフト時最大作業能力)	
	リフト最大揚程（㎜）	５８０	
	リフト最大荷揚高（㎜）	９８０	
	安全装置	シザーズガード（蛇腹）	
使用温度範囲（℃）		０～４０	

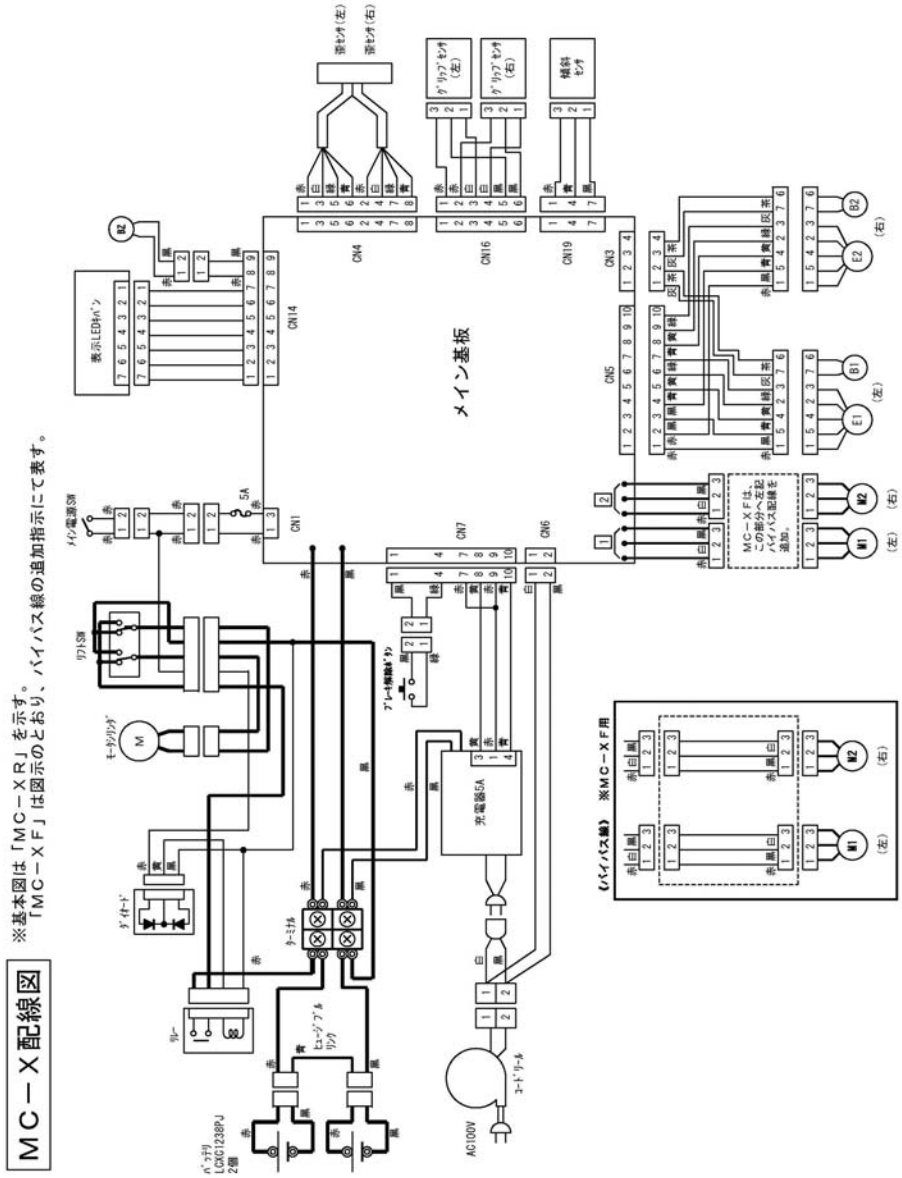
外観図　［ＭＣ－ＸＲ］


全幅：650
有効全幅：640
385
525
最低地上高：50
5（ローナガード厚み）
全幅：1060
ハンドル幅：1000
※1
全長：1220
有効全長：1050
530
最低地上高：400
5（前後ゴム厚み）
980
※1：全長1220mm、バンパット装着時

［ＭＣ－ＸＦ］


525
最低地上高：55
980
荷台側板上高：400
5（荷台ｳﾚﾀﾝ厚さ）
5（コーナガード厚み）
※1
全長：1225
荷台全長：1050
670
ハンドル高：1000
外高：1060
5（コーナガード厚み）
全幅：650
荷台全幅：640
385
※1：全長1225mmは、バスケット寸法を含まない。

配線図


MC－X配線図
※基本図は「MC－XR」を示す。
「MC－XF」は図示のとおり、バイパス線の追加指示にて表す。
メイン基板
MC－XFは、この部分へ左記バイパス配線を追加。
※MC－XF用
AC100V

主な消耗部品

消耗部品のご注文の際は、部品番号をお確かめの上、お買い求めの販売店にご相談ください。

部品番号	部品名称	個数/台	使用箇所・備考
0276-113-011-	リヤホイル（150）	2	走行部・キャスター輪
0745-320-011-	ノーパンクタイヤ（UN3.00-5）	2	走行部・タイヤ（駆動輪）
0745-610-015-	ローラチェン（50×22L）	2	走行伝動部・ドライブチェン
0774-665-011-	バッテリ（SER38-12）	2	電装部・12V×32AH （シールドバッテリ）

連絡先

販売店

〒　　－

住所

ＴＥＬ　　－　　－

担当

ご購入日	
型　　式	
製造番号	
キー番号	

※ご使用になる前にメモをしておくと、万一、修理等の依頼をされるとき、お役に立ちます。

豊かさを創造し、未来へ挑戦する

株式会社アテックス

□ 本　　社　愛媛県松山市衣山 1－2－5　〒791－8524
TEL（089）924－7161（代）　FAX（089）925－0771
TEL（089）924－7162（営業直通）
E-mail:atexhome@atexnet.co.jp
ホームページ：http://www.atexnet.co.jp/
お客様ダイヤル：0120-870866

□東北営業所　岩手県紫波郡矢巾町広宮沢第 11 地割北川 505-1　〒028－3621
TEL（019）697－0220（代）　FAX（019）697－0221
E-mail:touhokugrp@m2.atexnet.co.jp

□ 関 東 支 店　茨城県猿島郡五霞町元栗橋 6633　〒306－0313
TEL（0280）84－4231（代）　FAX（0280）84－4233
E-mail:kantogrp@m2.atexnet.co.jp

□ 中部営業所　岐阜県大垣市本今 5 丁目 128　〒503－0931
TEL（0584）89－8141（代）　FAX（0584）89－8155
E-mail:kansaigrp@m2.atexnet.co.jp

□ 中四国支店　愛媛県松山市衣山 1－2－5　〒791－8524
TEL（089）924－7162　FAX（089）925－0771
E-mail:eigchushikoku@m2.atexnet.co.jp

□ 九州営業所　熊本県菊池郡菊陽町大字原水 1262－1　〒869－1102
TEL（096）292－3076（代）　FAX（096）292－3423
E-mail:kyushugrp@m2.atexnet.co.jp

□ 部品センター　愛媛県松山市馬木町 899－6　〒799－2655
TEL（089）979－5910（代）　FAX（089）979－5950
E-mail:partsgrp@m2.atexnet.co.jp